

会長のページ 医療秘書について	河野 雅行	3
日州医談 次世代医療基盤法について	荒木 早苗	4
随 筆 24HEURES DU MANS 15-16 JUIN 1996	吉永 徳海	6
エコー・リレー (520)	福永 幹, 東野 哲也	9
メディアの目 変わる価値観	小川 祐司	17
宮崎大学医学部だより (社会医学講座 生命・医療倫理学分野)	板井孝壱郎	22
専門分科医会だより (整形外科医会)	松本 宏一	23
診療メモ 「形成外科」診療について	大安 剛裕	64
宮大医学部学生のページ ひまわりキャンプについて	石田 貫大	80

叙勲・祝賀	10
表彰・祝賀	12
宮崎県感染症発生動向	14
あなたできますか? (平成29年度医師国家試験問題より)	16
郡市医師会だより (西臼杵郡医師会, 宮崎大学医学部医師会)	18
各種委員会 (健康教育委員会)	24
第1回各郡市医師会長協議会	25
平成30年度九州医師会連合会学校医会評議員会・	
平成30年度九州医師会連合会学校医会総会	27
平成30年度第49回全国学校保健・学校医大会	28
平成30年度九州学校検診協議会幹事会	29
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	30
日医インターネットニュースから	32
医師国保組合だより	34
理 事 会 日 誌	35
県 医 の 動 き	39
追悼のことば	40
会員の異動・変更報告	41
ベストセラー	42
ドクターバンク情報	43
行 事 予 定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
平成30年総目次	66
あ と が き	86

お知らせ 女性医師の皆様へ	26
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	47
第19回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	62
「新春随想」原稿募集	63
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	82
年末・年始の休館について	83
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	83
郡市医師会への送付文書	84

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

カップル

冬の午後 美瑛の丘の戯れ合う2匹のキタキツネ。三脚にカメラを固定し、悴む指先だが無心に写真を撮った。彼らの動きを見逃さないように追いつける。そんな時に撮れた写真です。きっと春には新しい家族が増えていることでしょう。

都城市 やま山 じ路 たけし健

会長のページ

医療秘書について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

去る9月22日、全国医師会医療秘書学院連絡協議会が宮崎市で開催されました。日医から松原副会長、釜范常任理事にご出席いただき、全国13県・15校からの参加で様々な課題につき大変熱の入った会議でした。

医師の働き方・過重労働が問題になっています。一因として、医療現場では医師の本来の業務以外に膨大な事務作業が付随していることがあります。カルテの記載は当然としても、様々な診断書、報告書、連絡書類等々義務付けられた文書作成等膨大な量になります。事務作業も医師の業務の一環であるとするならば疎かにはできませんが、書類の記載が

多過ぎます。法的に全ての業務が医師の責任として担わされており、想像を絶する作業を医師が消化しているのです。勿論、記録記載は重要ですが、代理記載でも可能ではないと思われる文書等も多くあります。しかも少しの誤りも容赦なく処断されかねません。管理指導料算定等には指導内容を「少なくとも数行は自筆記載すべし」等の指導も行われ、同一文言でスタンプ類を使用すれば注意を受けます。「毎日毎日僕らは…嫌になっちゃうよ」と歌の文句ではありませんが、第一線医師は書類で忙殺されて嫌になっています。誰か替わってくれと言いたくとも、医師の業務は振り分けることができ難いシステムになっています。そこで医師業務の事務的な補助者として医療秘書の創設が提唱されました。医療秘書のできることは多々ありますが、直接診療以外の業務（雑用と言えば少し語弊があるかも知れない）が多すぎるので、秘書の活用でこれらを減らすだけでも医師の過重労働の軽減になるものと期待できます。しかし、未だ医療秘書の認知度が低いようです。法的な作業許容範囲が分からないし、何よりも小規模の医療機関では医療秘書を雇用するだけの費用が捻出できません。折角の医療秘書資格を持ちながら一般事務としての勤務を続けている例もあると聞きます。医療秘書の社会的認知度を上げる努力が必要であるとともに、診療報酬での裏付けが必要と思われます。今回の改定で、医療秘書に対する加算が認められましたが、人件費を賄うにはとても足りない額に留まっています。本気で医師の過重労働を軽減する意図があるならば、しっかりした点数を出していただきたいものです。

今回の協議会で、日医松原副会長は「一人の医師に一人の医療秘書を」と唱えられ、「人件費の手当てについても努力する」と心強い発言をされました。今後の日医のご努力により、医療秘書の趣旨に則った有効活用ができれば医師の過重労働の軽減につながるものと期待されます。

(平成30年11月19日)

日州医談



次世代医療基盤法について

常任理事 ^{あら} ^き ^さ ^{なえ}
荒 木 早 苗

平成30年5月11日、次世代医療基盤法が施行されました。正式名称は「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律」といいます。

この法律は、デジタルデータを活用した次世代の医療分野の研究、医療システム、医療行政を実現するための基盤として、デジタル化した医療現場から診療行為の結果情報（アウトカム）を含む多様なデータを大規模に収集・活用する仕組みを設けるものです。

医療情報収集の現状と課題

現在、全国規模で利活用可能なデータは、レセプト等のインプットに関するデータが基本であり、診療行為の実施結果（アウトカム）に関するデータの利活用は十分に進んでいません。海外では政府の戦略的な取組みにより、大規模な医療情報データベースの整備・活用が進展し、成果を挙げつつあります。質の高い大規模な医療情報の収集は国際競争力を持つ上でも重要ですが、現状はデータの標準化が遅れており、かつ、必要なデータが分散保有されていて収集利活用が困難な状況です。

このような中で、平成29年5月30日、「改正個人情報保護法」が全面施行され、医療情報（病歴）は要配慮個人情報と位置付けられることになり、原則として、患者の同意を得なければ第三者に提供することができなくなりました（オプトイン）。

また、地方自治体で制定されている条例は、医療情報について個人情報保護法を上回る機密レベルで取り扱うこととしている場合が多く、これも EHR（Electronic Health Record）や医療データの2次利用に大きな障害となっていました（2000個問題）。

次世代医療基盤法の全体像

このように、健康・医療に関する研究が阻害される懸念が出てきたことから、個人の権利利益の保護に配慮しつつ、個人を識別できないように匿名加工された医療情報を安心して円滑に利活用することが可能な仕組みを整備するためにできた法律が「次世代医療基盤法」です。次世代医療基盤法が施行されたことにより、地方自治体で制定されている条例は「上書き」され、2000個問題は解決することとなります。

次世代医療基盤法の基本方針のポイントは以下の2点です。

① 認定匿名加工情報作成事業者（認定事業者）の認定

高い情報セキュリティを確保し、十分な匿名加工技術を有するなどの一定の基準を満たし、医療情報の管理や利活用のための匿名化を適切かつ確実に行うことができる事業者を国が認定します。

② 認定事業者に対する医療情報の提供

医療機関等は、あらかじめ本人に通知し、本人が提供を拒否しない場合、認定事業者に

対して医療情報を提供することができます（オプトアウト）。患者への通知は、最初の受診時に分かりやすい内容の文書を渡すなど、丁寧なオプトアウトが求められています。また、医療機関内での掲示や、ホームページへの掲載等により、いつでも医療情報の提供停止の求めができることの周知も必要です。

ただし、医療機関等から認定事業者への医療情報の提供は任意であり、強制ではありません。また、認定事業者による医療情報の取得、匿名加工、提供の一連のプロセスは、法に基づくもので必要な手続きがとられているため、医療情報の提供に際して、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に求められる倫理審査委員会の承認等は不要です。

次世代医療基盤法によって実現できること

大量の医療情報を活用することで、以下ののような事例の実現が予測されています。

- ・大量の実診療データを利用し、大規模な研究の実施が可能になることによる患者個別に合った最適治療の提供
- ・異なる医療機関や異なる診療科領域の情報を統合した治療成績の評価
- ・AI（人工知能）を活用して画像データを分析し、医師の診断から治療までを包括的に支援する診断支援ソフトの開発

その他、新薬の研究開発、医薬品等の安全対策の向上、医療機器の開発ニーズの把握、また、医療行政においては地域の医療ニーズ分析と提供体制の検討、診療報酬・費用対効果評価の検討などに役立てられることが考えられています。

日本医師会における次世代医療基盤法への対応

日医は、かかりつけ医を中心とした医療情報、健診・検診情報、介護情報、そして死亡情

報、生活情報など重要なファクターが加わった医療ビッグデータの利活用によって、国民の健康維持・増進施策が更に発展するとの考えを示しています。日医では、次世代医療基盤法を患者、医療関係者にとって実りあるものとするため、個々人の「生涯保健情報統合基盤」を構築・運用する一般財団法人を設立すること、そして、同法人が「認定事業者」として認定を受けるべく申請を行うことを決定しています。

次世代医療基盤法の今後の課題

上述の通り、医療機関から認定事業者への医療情報の提供は任意です。多くの医療機関に参加してもらうには、次世代医療基盤法への理解、作業負担等の軽減、インセンティブの付与が必要です。そこで認定事業者は、医療情報を提供する契約を結んだ医療機関への医療情報システム関連のサポート（バックアップ、コスト負担等）の提供が可能とされています。

また、患者・国民の理解も重要です。医療機関等における患者への通知は、文書等で行うことになっていますが、そもそも次世代医療基盤法は、「健康・医療に関する先端的研究開発及び新産業創出を促進し、もって健康長寿社会の形成に資することを目的とする」という国の法律です。国主導で、国民に理解を得られるよう周知することが必要です。

医療機関から認定事業者への医療情報の提供、認定事業者から産学官の利活用者への匿名加工医療情報の提供、利活用成果を通じた国民や医療機関等への価値のフィードバックという利活用推進の好循環が生まれるようになって、次世代医療基盤法は意義のあるものとなっていきます。

随 筆

24HEURES DU MANS 15-16 JUIN 1996

都城市 永田病院 ^{よし}吉 ^{なが}永 ^{のり}徳 ^み海

平成8年、世界の3大自動車レースのなかのル・マン24時間レースの日産レーシングのチームドクターとして参戦する体験をさせてもらった。

現在は68歳だが、参戦時は若い45歳で懐かしい思い出である。当時はサーキット通いもして、日産のモータースポーツ組織の中で、ニスモル・マンズクラブというサポータークラブにも加入していた。そのような縁もありボランティアスタッフとして、また前年度のチームは私の前職場の循環器科病院で同僚でもあった友人の勧めもあり、幸運を射止めることができた。

私以外にボランティアスタッフは多く、コックさん、メディア経験のある通訳さん、タイヤ屋さん、整備士などと、星野一義・長谷見昌



(左より)近藤真彦(マッチ)、影山正彦、鈴木亜久里、星野一義、長谷見昌弘、鈴木利男の6名の選手

弘・鈴木利男・鈴木亜久里・影山正彦・近藤真彦(マッチ)の6名の有名トップレーサーと共に東京のホテルで壮行会を終え間もなく、フジスピードウェイでポジションワークの徹底の為、実践レースを経験したところで、エアーフランス機で渡欧した。13時間のフライトでシャルルドゴール空港に着いてまず、島国日本では感じることもできない大陸の風が心よいものであった。6月のフランスは、雨も少なくいい天候のことが多く、日中と夜の寒暖差は大きく、また日没が遅く夜11時ごろでも明るいので、生活リズムに慣れず体力を消耗した。岡山から来た有名コックさんの料理や、おやつはとても美味しく、なかでも桜の木のチップで焼いた肉の味はワインと共に最高のものであった。

ル・マンの24時間レースは伝統のあるレースで、世界各国からル・マンのサルテ・サーキットに集まり毎年6月に開催される。サルテ・サーキットは大きいサーキットではないので、ル・マン市街はレース開催中、街中の道路もサーキットとなる。ルマン市民も協力的で家の代々オフィシャルになることは、その家の誇りになるようだ。ル・マン名物の6kmストレートのユノディールは、普段シケイン無しの一般道路で

あり、私もヨーロッパ日産の車でフルスロットルで快走させてもらった。私はヨーロッパ日産の豪華なオフィスもあるキャンピングバスの中で持参した医薬品などの荷を開け、診療の準備をして待機した。

ル・マン参戦の中での車輛は、Nissan GT-R などのような箱型のものは少なく、日産車はエースナンバーの23号車と22号車の2台で出場した。日産チームの両隣のピットは、ポルシェチームとフェラーリチームで、ポルシェ GT-1 が眩しかった。日本車は、スポンサーのレナウンカラーの前年度優勝のマツダのロータリー車、またトヨタからはスープラ、ホンダはNSXのエントリーだった。レース前日、ルマン市民の憩いの場所であるジャコバン広場で、GT-Rは車検を受けた。広場でマッチと話していたのでレーサーと勘違いしてサインを求められ私は大変困ったが、子どもには快くサインをしてあげた。市販車のGT-Rとは違い、かなりカリカリにチューニングされ、GTR-LMと呼ばれた。

レースのスタートは昔のル・マン式スタートではなく、ローリング・スタートとなった。2



ジャコバン広場にて、車検時チームメカニックの立山氏と

台のGTR-LMは決勝用のエンジンとミッションに交換しスタートを待った。待機時は、国旗が被せられ、スタート時間になると国旗が取られフランスの有名男優アラン・ドロンのフランス国旗を振り下ろしたところで、決勝レースがスタートした。現在のフルレーシングカーと違い、当時のファイティング時の車内温度は60度以上となりクールスーツも役に立たず、また耐久レースながらスプリントレース並みの300km/h前後のスピードで昼夜走行するので、レーサーは体力を消耗し脱水傾向となるのでドライバー交代時は点滴をした。GTR-LMは何度かトラブルが発生したのでピットインして、ミッション交換やブレーキの修理をしなければならなかった。隣のピットのポルシェチームのミッドシップのエンジン載せ替えの早さには驚きであった。ピットインしてくる23号車、22号車の



渡欧前フジスピードウェイで昼食後、鈴木亜久里さんと

日の丸をつけたGTR-LMのボディは排気ガスやブレーキパッドのカスで汚れ、見るたびに戦いに来たのであることを40時間不眠が続くなか、スタッフ全員が感じたところであろう。なかには涙するスタッフもいた。私も背筋がゾクッとしたのを覚えている。私のチームドクターとしての仕事は、整備士の熱傷や外傷、またスタッフの花粉症が多く抗ヒスタミン剤は売り切れ状態となった。

22号車のGTR-LMは、ブレーキトラブルにて、ダンロップコーナーでクラッシュしてリタイヤした。あの有名なドライバーがピットに帰るやいなやヘルメットを叩きつけ、興奮状態でありトランキライザーの服用を勧めたところ、レースを終えたところであり服薬してもらった。チーム監督から聞くと、「あれは、彼のパフォーマンスだよ」であった。

参加車輦の中でポルシェの他に関心を持っていたのは、クライスラー車のダッチパイパーGTS-Rであった。テールパイプからアメリカンサウンドで走行する姿と音は忘れられない。クラシックカー好きの私には、レース前には往年の名車の模擬レースもあり、ステイブ・マックインのドライブした車も参加していて懐かしかった。レース前には予選があり、ある一定の戦闘能力のある車しか本戦には出場できないこ

とになっており、本戦には出場できなかったプライベートチームの方に関心があり、特にイギリスのライレーチームには声援を送った。結局GTR-LM23号車が日本車最高位の15位で完走し、ゴールの瞬間の感激は今も忘れることはできない。

ル・マン24時間レースは、ピュアに闘うことによってスタッフ間に、得も言われぬ体感が構築され24時間のゴールの地点は感動という名の上質なプレゼントが用意されていた。これは、ル・マン独特のものである。レースを終えた後、日産のチーフメカニックと仲良くなり話していたら私と同郷の小林市の出身であることがわかり、シャンパンではなく持参した焼酎霧島で乾杯した。そのチーフメカニックとは今でも交流させてもらっている。私の車の校長先生で、今はフェラーリのメカニックをしておられる。私も高齢になりましたが、時には息子と2人でサーキットに行き、ストレートをアクセル全開で走るだけで満足であり、昔の様にコーナーをヒール・アンド・トゥのテクニックで攻めることはもうできなくなった。ル・マンに参戦できたことと、禅寺で研修医時代生活し、元総理の中曽根氏と座禅できたことは、私の人生の中で大きな思い出として残っている。

エコー・リレー

(520回)

(南から北へ北から南へ)

最高の休日

宮崎大学医学部 研修医 福岡 永 幹



研修医生活が始まって1年半の月日が流れた。時の流れは早く、自身の思い描いた医師像に一步でも近づくことはできているのだろうかと思

の頃である。

私は宮崎生まれ宮崎育ちの宮崎人で大学は中国地方の大学へ進学した。卒業後は生まれ育った宮崎へ貢献したいという気持ちから宮崎へ帰郷した。

今回、自身の研修医生活を紹介するにあたって色々なことを考えたが、今回は自身の休日について話そうと思う。

私は週末に仕事が終わる次第、レンタルショップで数本のDVDを借り、自宅で晩酌しながら映画鑑賞をして過ごしている。好みのDVDはアクション物から恋愛物と幅広く、その時の心情に合わせて選んでいる。映画を見終わる前に疲れ果てて寝落ちすることもあるが、それも私にとっては至福のひとつである。ふと、この休日をよりよくするものは何なのかと考えた時、一つの結論に至った。といっても月並みな考えではあるがやはりそれは仕事に精進することであろう。なぜこのような考えに至ったかということ、学生時代もこのように休日を過ごすことは多かったが、その時には感じたことのない至福感が私を包み込んでいるからだ。実際、日々の仕事を頑張れば頑張るほど私の休日はより私を幸福な時間へと誘ってくれる。

これからも最高の休日を味わうためにも日々の仕事に励んでいこうと思う。

〔次回は、日向市の戸敷 和浩先生をお願いします〕

同級生から同級生へ

宮崎市 宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科 東 野 哲 也



11月23日、新しく生まれ変わった宮崎医科大学・宮崎大学医学部同窓会が宮崎観光ホテルで開催される。その記念すべき特別講演に2期生の三倉剛先生が推挙さ

れ、その座長に同級生である私が指名された。彼からもらった講演タイトルが「宮崎医科大学と私の医師人生 そして後輩に託したいこと」とのこと、「遺言のような演題だね」と返信すると「人は老いてレトロスペクティブの境界に入る」と返されたが、未だにプロスペクティブな研究計画書を書いている自分に焦りを禁じ得なかった。

宮崎県医師会員として県内で診療に従事されている卒業生にとっては、母校は常に身近に存在するし、無意識のうちに母校とのネットワークの中に身を置かれているためその有り難みを感じる場面は少ないかもしれない。母校への思いは、遠く離れて初めて深まるものでもあろう。私も3年ほど琉球大学に赴任し、耳鼻咽喉科学会の沖縄県地方部会長としての任を預かった時に、宮崎での医療と常に比較する自分を感じた。宮崎を離れて久しい三倉君にはどのような思いで、母校や宮崎県の医療を眺めているであろうか。再来週の同窓会で彼の「遺言」を拝聴するのを楽しみにしている。

じつはその連絡がてら、数年ぶりに同級生である県立宮崎病院の下藺孝司先生にメールしたところ、逆にこの「リレー」執筆を依頼された。やはり同級生はどこかで繋がっているのであろうか。さて次の同期は。

〔次回は、西都市の首藤 謙二先生をお願いします〕

叙勲・祝賀

保健衛生功勞により旭日双光章

なか むら のり お
中 村 典 生 先生(宮 崎)

平成30年11月3日、保健衛生功勞により旭日双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



中村 先生

警察協力功勞により瑞宝双光章

いし い よし みつ
石 井 芳 満 先生(都 城)

平成30年11月3日、警察協力功勞により瑞宝双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



石井 先生

叙勲・祝賀

保健衛生功績により藍綬褒章

た なか ひろし
田 中 洋 先生(日 向)

平成30年11月3日、保健衛生功績により藍綬褒章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



田中 先生



表彰・祝賀

国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰

まつ お たけ し
松 尾 剛 志 先生(宮 崎)

はし ぐち のり ひさ
橋 口 典 久 先生(宮 崎)

とみ た せい いちろう
富 田 精一郎 先生(延 岡)

平成30年10月1日、国民健康保険に関する功勞により国保連合会中央会長表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



富田 先生

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

たに ぐち ひろし
谷 口 浩 先生(南那珂)

平成30年10月15日、社会保険診療報酬支払基金に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



谷口 先生

表彰・祝賀

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

なが とも じゅん じ
永 友 淳 司 先生(児 湯)

かわ い だ しげる
川井田 繁 先生(西 諸)

平成30年10月18日、国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



永友 先生



川井田 先生



宮崎県感染症発生動向 ～ 10月～

平成30年10月 1日～平成30年10月28日(第40週～第43週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例(男性5例・女性7例)：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりである。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：都城保健所管内から報告があった。年齢別報告数は、0～4歳・10歳代(各1例)である。主な症状として水様性下痢、血便がみられ、原因菌のO血清型別はO26(VT1)である。

4類：○つつが虫病1例：都城保健所管内から報告があった。90歳代で、ダニの刺し口が確認された。主な症状として発熱、肺炎がみられた。

○日本紅斑熱1例：日南保健所管内から報告があった。80歳代で、ダニの刺し口が確認された。主な症状として発熱、頭痛、発疹、肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症1例：都城保健所管内から報告があった。60歳代で、病型は肺炎型である。主な症状として発熱、咳嗽、呼吸困難、意識障害、肺炎がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：延岡保健所管内から報告があった。30歳代で、病型はB型である。主な症状は肝機能異常がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症4例：宮崎市(3例)、延岡(1例)保健所管内から報告があった。50歳代・70歳代・80歳代・90歳代(各1例)で、主な症状は尿路感染、菌血症、敗血症、肺炎である。原因菌は *Enterobacter aerogenes* (2例)、*Enterobacter cloacae*・*Serratia marcescens* (各1例)であった。

○急性弛緩性麻痺1例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で、主な症状として弛緩性麻痺、深部腱反射低下、髄液細胞数増加等がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状としてショック、DIC、軟部組織炎がみられた。血清群はG群である。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で、病型は無症状病原体保有者である。

○侵襲性肺炎球菌感染症1例：都城保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として発熱、咳、全身倦怠感、意識障害、肺炎がみられた。ワクチン接種歴は無かった。

○梅毒1例：延岡保健所管内から報告があった。50歳代で、病型は早期顕症梅毒(Ⅱ期)で、主な症状として梅毒性バラ疹がみられた。

○百日咳13例(男性6例・女性7例)：保健所別報告数は【図2】、年齢別報告数は【表3】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(10例)、無(1例)、不明(2例)である。

○風しん1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代で、検査診断例である。主な症状として発熱、結膜充血、発疹、リンパ節腫脹等がみられた。ワクチン接種歴は不明で、推定感染地域は東京都である。

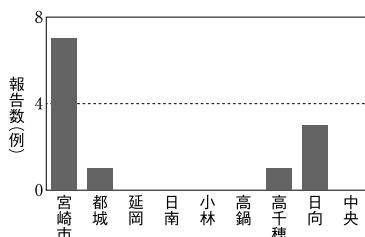


図1 結核 保健所別報告数

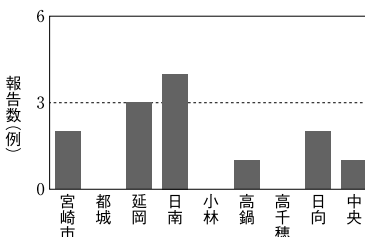


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
その他の結核 (結核性胸膜炎)	2
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	2
50歳代	1
70歳代	3
80歳代	3
90歳代	3

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	7
10歳代	3
20歳代	1
30歳代	1

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウ イ ル ス	風疹ウイルス	1
	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	2
細 菌	EHEC (O26:H11 VT1)	2
	<i>Vibrio fluvialis</i>	1
	<i>Salmonella</i> Braenderup (O7:e, h:e, n, z15)	1
	<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l, z13:l, 7)	1
	<i>Salmonella</i> 属菌 血清型不明(O4:-:1, 2)	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は2,480人(定点あたり84.8)で、前月の85%、例年の94%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナである。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は260人(7.4)で前月及び例年の約1.4倍である。中央(17.0)、延岡(13.0)保健所からの報告が多く、3～6歳が全体の約6割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は174人(5.0)で前月の約0.8倍、例年の約2.2倍である。延岡(14.3)保健所からの報告が多く、6か月～3歳が全体の約9割を占めている。

感染性胃腸炎の報告数は1,262人(36.1)で前月の約0.9倍、例年の1.1倍である。日南(60.7)、小林(58.0)保健所からの報告が多く、1～4歳が全体の5割を占めている。

前月との比較

	2018年10月		2018年9月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1	0.0	13	0.2	
RSウイルス感染症	216	6.2	720	20.6	
咽頭結膜熱	96	2.7	70	2.0	
※溶レン菌咽頭炎	260	7.4	183	5.2	★
感染性胃腸炎	1,262	36.1	1,351	38.6	
水痘	55	1.6	52	1.5	
手足口病	143	4.1	146	4.2	
伝染性紅斑	24	0.7	7	0.2	
突発性発しん	98	2.8	123	3.5	
ヘルパンギーナ	174	5.0	232	6.6	★
流行性耳下腺炎	50	1.4	80	2.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	100	16.7	87	14.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	1	0.1	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年10月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数:13

定点医療機関からの報告総数は26人(2.0)で、前月比93%と減少した。また、昨年10月(3.2)の63%である。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症: 報告数19人(1.5)で、前月とほぼ同率、昨年10月の約0.7倍である。

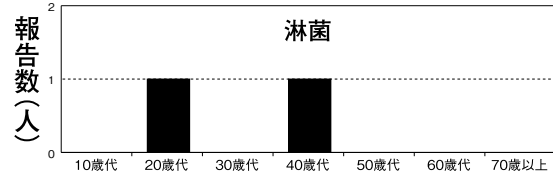
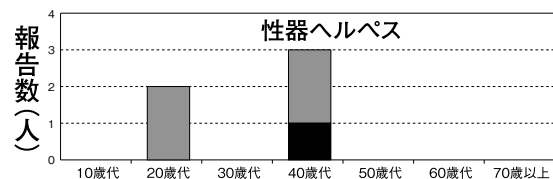
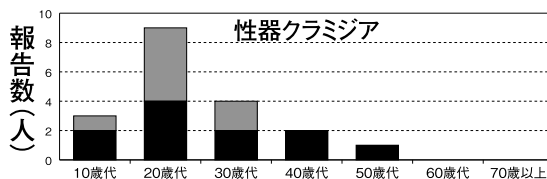
20～30歳代が全体の約7割を占めている。(男性11人・女性8人)

○性器ヘルペスウイルス感染症: 報告数5人(0.38)で、前月の約1.7倍、昨年10月の0.5倍である。

(男性1人・女性4人)

○尖圭コンジローマ: 報告なし。

○淋菌感染症: 報告数2人(0.15)で、前月及び昨年10月の0.5倍である。(男性2人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数: 7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比123%と増加した。また、昨年10月(3.9)の59%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症: 報告数16人(2.3)で、前月の約1.3倍、昨年10月の約0.6倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症: 報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症: 報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

メディアの目



変わる価値観

宮崎日日新聞 報道部長

お が わ ゆ う じ
小 川 祐 司

「価値観の変化に付いて行けなくなったら記者も終わりだな」なんて考えていたのだが、先日、この自信が大きく揺らいだ。

小紙ではシリーズ企画「みやざき 平成を問う」を掲載しており、この中で平成の時代に生じた価値観の変化にも触れている。県内でルームシェアする若者たちを取り上げた時のこと。「一つ屋根の下、赤の他人と暮らすなんて理解できんよな」と担当デスクに同意を求めると、「何言ってるんですか。うちの記者にもルームシェアしてる若者がいる時代ですよ」とあきれられた。うーん、そう言われても、やはり理解できない。平成生まれ、恐るべし。

一方で、「平成を問う」では理解可能な、しかも歓迎すべき価値観の変化にも出合った。美郷町南郷の渡川（どがわ）地区をご存じだろうか。この18年間で地区の人口は150人ほど減少し、今年4月時点で334人。ここまではよくある話だが、この渡川地区にはUターンした子育て世代が目立ち、39歳以下が何と101人もいる。中学時代の同級生9人のうち6人がUターンしたという37歳男性は、Uターンが多い理由について「よく分からない」と取材した記者に答えていた。

筆者は、男性は「特別な理由は必要ない」と言いたかったのだろうと勝手に解釈している。

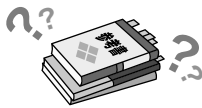
『生まれ育った場所で両親や幼なじみと一緒に暮らしたい』『田舎にある人間本来の暮らしがしたい』。そんな自然な欲求が今の時代、強まっているのではないだろうか。

幸せや豊かさの多様化を示す動きは本県への移住者数にも表れている。県は平成27年に宮崎市と東京都に移住相談窓口を開設し、住居や仕事の相談に一元的に対応している。この頃から各市町村も移住促進に本腰を入れ始めた。

その結果、平成26年度まで60世帯台で推移していた移住者数が飛躍的に増加。平成29年度には506世帯にまで増えている。情報発信や相談体制を充実させただけで、これだけのレスポンス。まだまだ伸び代は大きいとみられる。

もう一つ、新規就農者数も近年増加傾向にある。県内で平成29年に新たに就農したのは406人となり、2年連続で平成最多を更新した。農業法人の雇用拡大と移住者の就農が原動力になっているのだが、職業観や農業観の変化が根底にあるのではないだろうか。

「都会から田舎へ」「サラリーマンから農家へ」。平成が終わりを迎えようとする中、こうした価値観の逆転現象が起き始めている。何とかこれを拡大・加速させ、宮崎の明るい未来につなげたい。個人的には「勝機あり」と踏んでいる。



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は42ページ)

- 57歳の男性。食欲不振と肝機能障害のために入院中である。20歳代から連日日本酒3合を飲んでいたが、仕事に支障をきたすことはなかった。3年前から飲酒量がさらに増加し、毎日5合以上飲むようになった。1週間前から全身倦怠感を自覚し、仕事を休み始めた。それでも飲酒を続けていたが、3日前に著しい食欲不振で食事を摂れなくなったため外来受診し、血液検査で肝機能障害が認められて入院することになった。入院時から夜間不眠があり、入院2日目から落ち着きなく歩き回り、夜間には「動物が壁を這っている」と訴えて不穏になった。このとき手指の粗大な振戦および著明な発汗がみられ、自分が入院していることが分からない様子であった。入院時の頭部CTで異常を認めなかった。
まず投与すべき薬剤として適切なのはどれか。**2つ選べ。**
 - 抗酒薬
 - ジアゼパム
 - ビタミンB群
 - イミプラミン
 - レボドパ(L-dopa)
- 子宮頸癌罹患と最も関連が深いのはどれか。
 - 飲酒
 - 喫煙
 - 睡眠
 - 塩分摂取
 - 身体活動
- 咳嗽を伴うことが少ないのはどれか。
 - 気管支喘息
 - 細菌性肺炎
 - 過換気症候群
 - 慢性気管支炎
 - 特発性肺線維症(IPF)
- アルコールによる手指衛生の効果が高いのはどれか。
 - 破傷風菌
 - ノロウイルス
 - ロタウイルス
 - ボツリヌス菌
 - インフルエンザウイルス
- ショックをきたす病態で早期から中心静脈圧が上昇するのはどれか。**2つ選べ。**
 - 敗血症
 - 緊張性気胸
 - 異所性妊娠破裂
 - 心タンポナーデ
 - アナフィラキシー
- 気胸でみられる所見はどれか。
 - 胸壁動揺
 - 下顎呼吸
 - テタニー
 - 呼気の延長
 - 患側の呼吸音減弱
- 肺移植の適応となる疾患はどれか。**3つ選べ。**
 - 肺リンパ脈管筋腫症(LAM)
 - 特発性肺線維症(IPF)
 - 特発性肺動脈性肺高血圧症
 - 肺アスペルギルス症
 - 肺小細胞癌
- 18歳の女子。くしゃみと鼻汁とを主訴に来院した。幼少時から一年中くしゃみと水様性鼻汁があり、特に起床直後に症状が強い。血清特異的IgE検査でヤケヒョウヒダニとコナヒョウヒダニのスコアが高値を示した。根治的な治療を希望して受診した。
根治が期待できる治療法はどれか。
 - 減感作療法
 - 鼻内レーザー手術
 - 抗ヒスタミン薬内服
 - 抗ロイコトリエン薬内服
 - 副腎皮質ステロイド点鼻
- 89歳の男性。発熱と意識レベルの低下とを主訴に来院した。2年前に脳梗塞を発症し嚥下困難となったため、胃瘻から栄養を摂っている。この1年間で2回、肺炎に罹患している。2週間前、38℃台の発熱があり、意識障害を認めたため、入所中の特別養護老人ホームの職員に連れられて来院した。胸部エックス線写真で両側下肺野にすりガラス陰影を認めた。入院し抗菌薬の投与を行ったところ、症状は改善し退院することとなった。合併症に対する内服薬を胃瘻から投与している。
肺炎再発リスクとなる可能性の高い薬剤はどれか。
 - 睡眠薬
 - 去痰薬
 - 胃粘膜保護薬
 - 腸管蠕動改善薬
 - カルシウム拮抗薬
- 死にゆく人の心の動きを、否認、怒り、取引、抑うつ、受容の5段階で表し、終末期ケアの在り方に影響を与えた“On death and dying”(死ぬ瞬間)の著者はどれか。
 - William Osler (ウィリアム・オスラー)
 - Helen Adams Keller (ヘレン・アダムス・ケラー)
 - Albert Schweitzer (アルベルト・シュバイツァー)
 - Florence Nightingale (フロレンス・ナイチンゲール)
 - Elisabeth Kübler-Ross (エリザベス・キューブラー＝ロス)

各郡市医師会だより**西 白 杵 郡 医 師 会**会 長 ^さ 佐 ^{とう} 藤 ^{げんじろう} 元二郎

今年度、西白杵在宅医療・介護連携推進事業として町民公開講座「住民みんなでささえるまちづくり」が開催されました。2006年に財政破綻した夕張市で医療を再建した立役者の一人であり、現在、岩見沢市で医療法人社団支える医療研究所「ささえるクリニック」院長の永森克志氏をお招きし、医療資源の乏しい高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町が幸せに暮らせる地域であり続けるためにはどのような視点が必要か重要なポイントを教えていただきました。

地域包括ケアシステム、いわゆるキュアよりケアに重点を置いて取り組んできた結果、住民の意識が変わって医師の負担が減る体制が徐々にできあがり、それに興味を持ってくれた医師が大勢訪れるようになった経緯など熱く語られました。赤ひげ先生だけの頑張りで地域の医療を守るのではなく気軽に医師が来られる環境を築いていくことが必要という点は目からうろこが落ちる思いでした。「医療、介護を通じて、まちづくり」医療と介護を手段として地域のおばさん、お姉さんがつながりを大事に楽しく学びながら、元気で働ける場を作る、その広がりがまちづくりにもつながる。町が栄える基本条件は住民が主体的になって、ささえる医療、ケアを使って楽しく学べて、笑顔で働ける場所があることだと力説され、大変感銘いたしました。さて今期も会長職に留任することになりました。長年、内科医として地域医療に従事された後藤幸一先生、元産婦人科医の田崎清廣先生がご逝去され寂しくなりましたが、お二人のこれまでのご功績ご功労に感謝し、今後も会員の先生方のご協力を仰ぎながら努力したいと思います。どうぞ、これからもよろしくお願い申し上げます。



西白杵郡医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年6月1日定例総会終結後～2020年5月31日定例総会終結時)

役職名	氏 名	診療科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	佐藤元二郎	内科, 胃腸科 小児科	佐藤医院	会務全般, 予備代議員
副 会 長	植松 昌俊	精神科	国見ヶ丘病院	介護保険, 健康教育, 学校健診 学校医部会
理 事	古賀 志朗	内科, 胃腸科 小児科	古賀医院	学校保健, 学校心臓検診 県医師国保組合会
〃	久米 修一	外科	高千穂町国保病院	病院部会, 救急医療 外科医会評議員 地域医療構想委員
〃	白石 達史	内科, 小児科	田原診療所	産業医部会, 福祉委員
〃	田上 恒雄			
監 事	興梠 智子	小児科	高千穂町国保病院	学校腎臓検診, 裁定委員 在宅医療
議 長	古賀 志朗	内科, 胃腸科 小児科	古賀医院	
在 宅 医 療 協 議 会	興梠 智子	小児科	高千穂町国保病院	
勤務医部会	崔 林承	外科	五ヶ瀬町国保病院	病診連携
医 師 国 保 支 部 長 准 , 看	佐藤元二郎	内科, 胃腸科 小児科	佐藤医院	
県医代議員	植松 昌俊	精神科	国見ヶ丘病院	

各都市医師会だより**宮崎大学医学部医師会**会長 さめ 鯨 しま 島 ひろし 浩

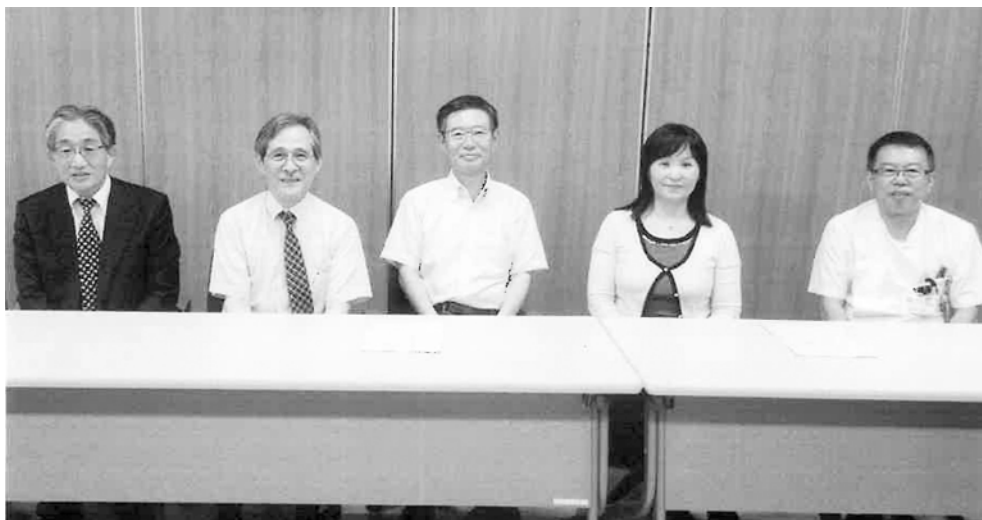
平成30年、宮崎大学医学部医師会も新たな役員体制となりました。宮崎県医師会の会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

現在、宮崎大学医学部医師会の最大の課題は、宮崎における医師の確保、増員である、と考えています。今年度には、地域枠に関する厚生労働省の意向が明確に示されました。それを踏まえて、宮崎大学でも地域枠の医学部学生へ、熱く、熱く、働きかけることに、大きく舵を切りました。また、県内ほとんどの医療圏が医師少数地区であることから、県とも協議し、専門医研修病院のほぼ全てを奨学金返済対象機関として認めていただきました。このような取組みが伏線となって若手医師数増加につながるよう、医育機関として努力する所存です。

大学病院では、平成27年以降、外科、内科の診療体制を整備し、住民目線からも分かりやすい診療科名を標榜することになりました。これに伴い、それぞれの専門領域の診療体制や教育体制を整理することが可能となりました。その一方で、同時に、外科、内科ともに大講座制を敷き、専門領域に偏りすぎないように、ダイバーシティを保ちつつ内科学、外科学を専攻できるよう、取り組んでいるところです。今後、このような取組みについても、宮崎県医師会の会員の皆様にお伝えしていきたいと思えます。

近年のがん医療の進歩に伴い、化学療法、免疫療法、がんゲノム研究など、がん診療に係る様々な診療、教育、啓蒙活動、登録事業などを行う必要が生じており、今年度、臨床腫瘍科を設置しました。また、内視鏡検査と治療を集学的に行うため、これまであった光学診療部を増改築し、光学医療診療部・消化器病センターを開設しました。これらの組織も医師会の皆様に広く認知され、地域に貢献していければと期待しています。

宮崎大学医学部医師会では、大学病院の各講座、各診療科、中央診療施設やセンターが実施する医学・医療を通じて「地域に貢献する取組み」を今後も実施してまいります。宮崎県医師会の会員の皆様、これからも宜しく願いいたします。



宮崎大学医学部医師会新役員

役員等名簿(任期 平成30年6月6日～2年後の6月教授会まで)

役職名	氏 名	担 当 業 務
会 長	鯨島 浩	大学理事，病院長
副 会 長	中里 雅光	内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授
理 事	帖佐 悦男	県医師会理事，感覚運動医学講座整形外科学分野教授
〃	荒木 早苗	県医師会常任理事，コミュニティ・メディカルセンター
〃	東野 哲也	感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授
監 事	直井 信久	感覚運動医学講座眼科学分野教授
〃	竹島 秀雄	臨床神経科学講座脳神経外科学分野教授

宮崎大学医学部だより

社会医学講座 一生命・医療倫理学分野一



いた い こういちろう
板井 孝一郎 教授

当教室の前身は、宮崎医科大学であった平成14年4月、私が専任講師として着任しました折、基礎教育講座「哲学・倫理学」教室としてスタートし、平成15年に宮崎大学

と統合され、医学部、さらに平成17年の講座再編に伴って「医学部医学科社会医学講座生命・医療倫理学分野」となりました。その後、平成22年4月より、板井が初代教授として着任させていただいております。未だ教授1名のみの弱小教室ではありますが、平成26年4月より新設された宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科生命倫理コーディネーターコースでは、コース長として、宮崎市内のみならず、鹿児島、熊本、静岡等、他県の医療機関から計5名の大学院生を迎え入れ、3名の学位取得者を送り出しました。来年度も名古屋の医療機関より1名の入学者を迎えることが決まっております。

本コースは、先端研究や臨床研究における倫理ガバナンス、並びに臨床現場における倫理支援を担いうる人材育成を目的とした教育プログラムであり、「生命倫理」に精通したコーディネーターとしてのコミュニケーション能力の修得を目指しております。修了生は、医科学的知識のみならず、法的・倫理的知識に精通した「臨床倫理アドバイザー」として病棟スタッフをバックアップする倫理的支援体制の中心的人材となり、病院機能評価においても求められて

いる「臨床倫理委員会」等を運営するコアメンバーとして活躍することが期待されています。

先般、群馬大学や、東京女子医科大学において「特定機能病院取り消し」という重大事案が生じたことを踏まえ、特定機能病院における「倫理」の見直しを含めた「安全管理」強化が義務付けられました。宮崎大学医学部附属病院においても、いわゆる「研究倫理」だけでなく、「臨床倫理」を統括・管理するために平成24年より、中央診療部門に「臨床倫理部」が新設され、当方が部長を務めております。臨床倫理部副部長には、安全管理部副部長でもある呼吸器外科の綾部貴典准教授に兼務していただいております。事務職員の三浦由佳里さん（臨床倫理認定士有資格者）の3名体制を基本として、安全管理部や薬剤部とも連絡・連携を図りつつ、臨床倫理コンサルテーションに対応しています。

高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等に関する申請をはじめ、医薬品の適応外・禁忌使用、DNARや延命治療の差し控え・中止の問題、宗教的理由による輸血拒否のケース、さらには独居高齢者等、いわゆる「身寄りのない方」の治療方針をめぐる倫理問題など、対応事案は多岐にわたっており、緊急性を伴う極めて迅速な判断を要する事案については、数人で構成された「臨床倫理コンサルテーション・チーム」が状況を確認、内容の検討を行い、現場への助言・回答をフィードバックするシステムを構築しております。創設初年度のコンサル件数は年間20件でしたが、その後、43件、50件、83件、105件と年度ごとに増加し、平成29年度は135件、平成30年度に関しては11月現在で83件となっております。今後もさらに一層の「倫理支援体制」の充実に向けて尽力してまいります。

専 門 分 科 医 会 だ よ り**(宮崎県整形外科医会)**まつもと こういち
松本 宏一 会長

平成30年7月より新しく宮崎県整形外科医会会長に就任しました松本宏一です。何分若輩でございます、宮崎県医師会員の皆様どうぞよろしくご指導の程お願い申し上げます。

副会長には川越正一先生、理事に金井一男先生(延岡)、大平卓先生(日向)、飯田博幸先生(都城)、平川俊一先生(宮崎)、後藤啓輔先生(宮崎)、坂本武郎先生(宮崎大学)が選出され、監事には宮元修一先生、久保紳一郎先生が選出されました。

評議員には、三股恒夫先生(日向)、栗原典近先生(延岡)、黒木隆男先生(宮崎)、黒木龍二先生(宮崎)、作良彦先生(宮崎)、渡部正一先生(宮崎)、松田虎洋先生(日南)、池之上貴先生(都城)、立山洋司先生(小林)、帖佐悦男先生(宮崎大学)、関本朝久先生(宮崎大学)、渡邊信二先生(宮崎大学)が選出されています。

宮崎県整形外科医会の会員数は現在A会員78名、B会員117名の合計195名であります。

宮崎県整形外科医会で毎年行われる主な活動としましては次のものがあります。

1) 全国整形外科保険審査委員会議

例年9月の第2日曜日に品川の東京コンファレンスセンターで開催されます。今年は9月9日(日)に行われました。全国から整形外科の保険審査委員316名が集まり、宮崎県整形外科医会からは7名の審査委員に出席していただきました。1995年(平成7年)に第1回全審会が立ち上げられ、今年は第24回目の開催でした。

2) 宮崎県整形外科医会研修会

平成30年10月27日(土)に開催されました。本研修会は、9月の全国整形外科保険審査委員会議の結果をふまえて、宮崎県における保険審査基準を説明する会であります。社保審査委員からは川野啓一郎先生、国保審査委員からは税所幸一郎先生が講師として出席されました。

また、同時に特別講演としまして、千早病院整形外科部長大石正信先生に「地域包括ケアシステムにおける整形外科医の役割と骨粗鬆症診療」をお話していただきました。

3) 市民公開講座

平成30年10月21日(日)に開催されました。本講座は宮崎大学整形外科教室が中心となり毎年10月に開催されます。聴衆は一般市民です。整形外科の講師は4名で1名30分ずつお話をされます。県整形外科医会からは今年は河原勝博先生(かわはら整形外科リハビリテーションクリニック)に講師をお願いして、「中高年のスポーツ障害」についてお話をしていただきました。帖佐教授のお話は「運動器を元気に！ロコモ体操」でした。

4) 健やかな心と体を育む健康教育推進事業

この事業への講師派遣は宮崎県教育庁スポーツ振興課からの依頼で宮崎県の小学校、中学校、高等学校に、整形外科講師を派遣しています。昨年は9校から依頼があり、県内各地区の整形外科の先生方に講義を行っていただきました。今年は3校から講義依頼があり、金井一男先生(延岡)、大平卓先生(日向)、川越正一先生(宮崎)に出張していただきました。

5) 宮崎日日新聞生活情報誌「きゅんと」の執筆協力

整形外科が担当する枠が1年に2回あります。今年は後藤啓輔先生が2回共執筆される予定です。

本邦では超高齢化社会を迎え、宮崎県ではさらにそれ以上の高齢化社会に向き合っています。整形外科におきましても健康寿命を延ばすことが重要な課題だと言われています。その為には運動器の健康が何よりも大切です。宮崎県では宮崎大学整形外科教室が中心となって、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防および治療を推進しています。宮崎県整形外科医会としまして、協力を惜しまず全力で取り組む所存でございます。

－ 各種委員会－

健康教育委員会

と き 平成30年10月25日(木)

ところ 県医師会館(テレビ会議:日向, 児湯)

1 開 会

2 挨拶 宮崎県医師会長 河野 雅行

3 諮 問

4 報 告

1) 平成29年度健康教育事业について

会員, 各専門分科医会が行った健康教育事业について報告を行った。平成29年度の実績は, 各郡市医師会が141件, 各分科医会が79件であった。

2) 平成29年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

「健康寿命, 日本一を目指そう!」をテーマに平成30年2月25日(日)に開催した。宮崎県医師会創立129周年医学会との併催となり, 県民153名, 医師23名, 合計176名の参加があり大変好評であった。

3) 健康教育事业費補助事業について

平成26年度から開始した同補助事業について説明があった。

5 報 告

1) 諮問事項「超高齢社会における健康教育の在り方について」

任期中の答申のため, 今後検討を重ねていくこととなった。



2) 平成30年度宮崎県医師会県民健康セミナーについて

今年度の開催日は平成31年2月24日(日)となり, 昨年同様, 宮崎県医師会創立130周年記念医学会との併催となったことが報告された。

医学賞受賞者講演, 健康教育委員会からの1題, 健康スポーツ医学委員会からの1題, 計3題の講演を行うこととし, 健康教育委員会からのテーマ案として「便秘」もしくは「ものわすれ」に関する内容が委員から提示された。

6 閉 会

出席者－中山委員長, 尾崎・大森・竹中・

竹之内・福井・帖佐(宣)委員

(県医)河野会長, 濱田副会長, 小牧常任理事,

岩村理事

牧野課長, 横山主事

第1回各郡市医師会長協議会

と き 平成30年10月9日(火)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会で開会し、新たに郡市医師会長に就任された田口会長(都城)、千代反田会長(日向)、中村会長(南那珂)の挨拶が行われ報告及び協議に入った。

1 報告及び協議

1) 9/18(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

河野会長が、各都道府県医師会及び日本医師会から提出された12の協議事項の要点について説明を行った。

- ①「医師の働き方改革」とともに進めるべきこと(山口県)
- ②JMAT(日本医師会災害医療チーム)と日本医師会プラットフォームの設置について(岡山県)
- ③JMATの組織化について(愛知県)
- ④地域医療構想の議論の活性化のための方策(地域医療構想調整会議に設置する専門部会の開催経費に対する地域医療介護総合確保基金の活用と病床機能報告に係るデータ活用)について(鹿児島県)
- ⑤地域住民の健康や衛生を支える保健所勤務医師の現状と課題(茨城県)
- ⑥特定健診のより一層の充実と実施上の混乱回避に向けて(滋賀県)
- ⑦児童虐待を中心とした母子保健・乳幼児保健、学校保健対策について(東京都)
- ⑧大学病院医療情報ネットワーク研究センター「オンライン学術集会演題抄録登録システム」の継続について(北海道)
- ⑨消費税問題への対応及び経過について(長崎県)

⑩控除対象外消費税問題解消のための新たな税制上の仕組みについての提言について(日医)

⑪准看護師試験事務の委託について(日医)

⑫次世代医療基盤法に対する日本医師会の取組みについて(日医)

2) 8/31(金)(東京)地域医療構想アドバイザー会議について

3) 地域医療調整会議の活性化に向けた方策について(地域医療構想アドバイザーと定量的な基準の導入について)[宮崎市郡医師会]

金丸常任理事が、本県の地域医療構想アドバイザーに宮崎大学医学部の鈴木斎王先生と共に選ばれたこと、また地域医療構想の現状とアドバイザーに期待される役割等について説明を行った。

2)、3)は一括で協議された。

4) 県立延岡病院の「看護師地域枠採用」に関する問題点について[延岡市医師会]

吉田会長(延岡)と赤須理事から、看護師の地域枠の現地採用が地域医療に悪影響を及ぼしていることが報告され、佐々木(幸)常任理事が、見直しを求めて県行政に要望すると回答した。

5) 地域医療介護総合確保基金(医療分)について

金丸常任理事が、今年度の内示が昨年度より約22億円多い約39億円であったことを報告した。来年度の事業については、郡市医師会等に照会の結果、専門医の研修に関する事業提案が提出された旨の説明を行った。

6) 糖尿病対策について

金丸常任理事が、宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針(第一期)の評価指標について、県が行う全医療機関を対象とする調査の協力依頼を行った。

7) 9/18(火)(日医)都道府県医師連盟委員長会について**8) 参議院議員羽生田たかし先生の支援について**

吉田常任理事が、次期参議院比例選挙の日医連組織内候補で、自民党公認の羽生田たかし先生の支援方法を説明すると共に、今後の活動について協力依頼を行った。

7)、8)は一括で協議された。

9) その他**出席者****各郡市医師会**

川名(宮崎)・田口(都城)・吉田(延岡)・千代反田(日向)・永友(児湯)・松本(西都)・中村(南那珂)・内村(西諸)・鮫島(宮大医)会長

県医師会

河野会長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木・池井・金丸・佐々木(幸)・高村・石川常任理事、立元・峰松・佐々木(究)・岩村・米澤・帖佐・嶋本・園田・瀬ノ口・赤須・大塚理事

事務局

山内事務局長、竹崎次長、久永・松本・牧野課長、湯淺課長補佐、杉田医師国保事務長心得

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣を貸し出しています～



心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を
2枚セット(無料)で貸し出します。

どうぞお気軽にご利用ください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ

(<http://www.miyazaki.med.or.jp/>)

をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会 担当 山本・野尻

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

平成30年度九州医師会連合会学校医会評議員会 平成30年度九州医師会連合会学校医会総会

と き 平成30年10月26日(金)

ところ 城山ホテル鹿児島(鹿児島市)

池田鹿児島県医師会長の挨拶の後、同会長が議長に選出され議事が進行された。

報 告

1. 平成29年度九州医師会連合会学校医会事業について(佐賀県)

2. 平成29年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について(佐賀県)

佐賀県より資料に基づき報告があり、1.

2. とともに承認された。

3. 平成30年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(鹿児島県)

鹿児島県より資料に基づき報告があった。

議 事

第1号議案 平成30年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件
(鹿児島県)

第2号議案 平成30年度九州医師会連合会学校医会負担金に関する件
(鹿児島県)

鹿児島県より説明があり、原案どおり承認された。

なお、各県からの負担金については、平成29年11月25日開催の評議員会において徴収しないことが承認されている。



第3号議案 第63回・第64回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件(鹿児島県)

第63回(2019年度)大会を大分県担当で開催することが提案され承認された。日程は、2019年8月3日(土)～4日(日)、ホテル日航大分オアシスタワー(大分市)において開催予定。

また、第64回(2020年度)大会が福岡県担当で開催されることが内定した。

その後、同会場で九州医師会連合会学校医会総会が開催され、横倉日医会長の祝辞(道永日医常任理事代読)の後、議事に入り各議案とも原案どおり承認された。

出席者－河野会長、高村常任理事、

山内事務局長、久永課長、野尻課長補佐

平成30年度第49回全国学校保健・学校医大会

と き 平成30年10月27日(土)

ところ 城山ホテル鹿児島(鹿児島市)

メインテーマ

「子どもは国の宝。次代を担う子どもたちの
健やかな成長を願って～学校医の果たす社会的
意義～」

平成30年度第49回全国学校保健・学校医大会
が九州ブロック学校保健・学校医大会を兼ねて
開催された。

午前中は、からだ・こころ、耳鼻咽喉科、眼科
の分科会が開催され複数の研究発表が行われた。

午後は、開会式・表彰式が行われ、永年にわ
たり地域において学校保健の発展向上に尽力さ
れた九州各県の学校医、養護教諭、学校関係栄
養士に対し日本医師会長表彰の式典が行われ
た。本県からは、黒瀬明治先生(学校医)、吉瀬
恵子先生(養護教諭)、菊池光子先生(学校関係
栄養士)が表彰された。

続いて、「次代を担う子どもたちの健やかな
成長・発達のために～考えよう学校医の果たす
役割～」をテーマに基調講演及びシンポジウム



が開催された。その後、「明治維新を成し遂げ
た薩摩の教育」と題して、歴史家で作家の加来
耕三氏の特別講演が行われた。

最後に、次期担当医師会として、金井埼玉
県医師会長から挨拶があった。次期の日程は、
2019年11月23日(土)、ソニックシティ及びパレス
ホテル大宮(さいたま市)において開催予定。

出席者－河野会長、高村常任理事、山内事務局長、

久永課長、野尻課長補佐、福田・山本主事

平成30年度九州学校検診協議会幹事会

と き 平成30年10月28日(日)

ところ 城山ホテル鹿児島(鹿児島市)

鹿児島県医師会の池田会長、九州学校検診協議会の松田会長の挨拶の後、慣例により、松田会長が座長に選出され、協議に入った。

協 議

1. 九州学校検診協議会会則の変更について

今年度より運動器部門を追加し専門委員の数が増えたため、会則の中で幹事数を3～5名と限定していた文言を削除することとなった。

2. 九州学校検診協議会役員、専門委員について

役員、専門委員の変更・追加について承認された。

3. 平成29年度事業報告並びに収支決算について

平成29年度の事業計画と決算の説明があり承認された。

4. 平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

専門委員会を2回開催すること、各県に分担金を求めること等、平成30年度事業計画と予算について説明があり承認された。

5. 成長曲線・肥満度曲線の利用状況アンケート調査の実施及び「成長曲線・肥満度曲線による受診勧奨」に関する要望書の提出について

成長曲線・肥満度曲線が作成・活用されていない学校があるため、現状と問題点を把握・分析するためアンケート調査を実施することと、各県教育委員会に対し全ての



学校で成長曲線・肥満度曲線を作成・活用すること等を要望することが承認された。

報 告

1. 平成30年度九州学校検診協議会第1回専門委員会について

先に行われた各専門委員会の心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の各部門について報告が行われた。

2. 「児童生徒等の健康診断の実施状況調査」に関する要望書の提出について

平成29年8月の幹事会で、運動器検診に関する「児童生徒等の健康診断の実施状況調査」の継続実施について日本医師会に要望することが決まったが、平成30年2月8日付で日本医師会と日本学校保健会宛てに要望書を提出したことが報告された。

出席者－高木・宮田学校医部会理事、澤田学校検診委員会委員、高村常任理事、久永課長、福田・山本主事

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成30年11月 3 日(土・祝)
ところ ハイビスカスゴルフクラブ

毎年恒例の親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催されました。今年は晴天に恵まれた絶好のゴルフ日和で、26名の会員の先生方が熱戦を繰り広げました。

競技方法は、18ホールズストロークプレイ、ダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で、今大会も、来年5月に岐阜で開催される「第3回全国医師ゴルフ選手権大会(チャンピオン戦)」の出場を掛けた戦いとなりました。

団体戦は宮崎Cチーム(水田雅也先生・弓削達雄先生・山村善教先生)が優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3組に分けて行い、A：弓削達雄先生(宮崎)、B：棚田敏文先生(宮崎)、C：水田雅也先生(宮崎)がそれぞれ優勝されました。

また、「第3回全国医師ゴルフ選手権大会(チャンピオン戦)」には、棚田敏文先生(宮崎)と吉永浩介先生(西諸)が出場される予定です。

成績は以下のとおりです。 (敬称略)

【団体戦】

	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名						
優 勝	宮 崎 C	217.8	水田 雅也	71.4	弓削 達雄	72.8	山村 善教	73.6	
準優勝	延岡・日向・西都	221.8	東山 泰成	71.6	大崎 泰	74	大塚 直純	76.2	
3 位	西 諸	222.0	高崎 直哉	73.4	吉永 浩介	74.2	前田 譲治	74.4	

【個人戦】

		氏 名	OUT	IN	GROSS	HD	NET	備 考
A	優 勝	弓 削 達 雄	45	41	86	13.2	72.8	
	準優勝	南 嶋 洋 一	48	43	91	16.8	74.2	
	3 位	前 田 譲 治	49	53	102	27.6	74.4	
B	優 勝	棚 田 敏 文	36	35	71	0	71	総合優勝
	準優勝	佐々木 昭	44	47	91	19.2	71.8	
	3 位	高 崎 直 哉	38	45	83	9.6	73.4	
C	優 勝	水 田 雅 也	44	43	87	15.6	71.4	
	準優勝	東 山 泰 成	43	43	86	14.4	71.6	
	3 位	瀬ノ口 洋 史	40	41	81	8.4	72.6	
B G 賞		棚 田 敏 文	71					
N P 賞		阿久根広宣, 大浦福市, 佐々木昭, 高崎直哉, 東山泰成, 水田雅也, 南嶋洋一, 弓削達雄						

※NP賞は五十音順



団体戦優勝**宮崎市Cチーム**

左から順に、山村善教先生、弓削達雄先生、水田雅也先生

11月3日の今年の宮崎県医師会親善ゴルフ大会は、晴天微風の絶好のゴルフ日和の中で行われました。県内から26名の参加者があり、私は宮崎Cチームに入っておりまして運よく同じチームの山村善教先生、水田雅也先生と共に団体優勝することができました。

私の同伴者は前田譲治先生(90才)、日高正昭先生(89才)、南嶋洋一先生(83才)それに私弓削達雄(82才)の高齢組でした。前田譲治先生は西諸(えびの市)からの年1回の参加ですので、私はお会いするのが楽しみで出来るだけ参加するようにしております。先生のドライバーショットは150ヤードを越しておりまして、長いパターを入れて「パー」と言われるとびっくりします。

来年も又お会いすることにしました。

(弓削達雄)

総合優勝**宮崎市郡医師会 棚田 敏文 先生**

2年連続の参加となりました。快晴の下、素晴らしいメンバーと同伴させていただきました。飯田先生、阿久根先生、大崎先生ありがとうございました。お陰様で、今回もアンダーでラウンドできました。

来年5月に開催される第3回全国医師ゴルフ選手権の出場権をゲットできましたので、2年連続で参加してきます(今年の第2回大会は個人戦5位、団体戦8位でした)。実は、今年の2月から右手を傷めており(虫様筋損傷)、半年ほどはまともなゴルフができずに泣いていました。第3回大会は、万全を期して戦いたいと思います。

参加された先生方、裏方の県医職員の方々、大変お世話になりました。

(棚田敏文)

日医インターネットニュースから

■第1回外国人医療対策委員会を開催 —「医療提供体制のあり方」諮問—

平成30年度第1回外国人医療対策委員会が10月17日、日医会館で開催された。

本委員会は、政府の方針等を踏まえ今後増加することが予想される訪日外国人旅行者並びに在留外国人に対し、適切な医療提供について総合的に検討することを目的として設置されたもの。

日医で外国人医療に関する委員会を設けるのは初めてのこととなる。

委員会は、担当の松本吉郎常任理事の司会で開会。冒頭には、日医を訪れていた小泉進次郎自民党厚生労働部会長も委員会に参加。「大きく、そして幅広い課題が山積している分野ではあるが、皆さんとしっかりコミュニケーションを図り、取り組んでいきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい」とあいさつを行った。

引き続きあいさつした横倉義武会長は、「7月4日に開催した第1回外国人医療対策会議を通して明らかになった課題等について検討し、あるべき外国人医療の姿について提言して欲しい」と述べるとともに、今秋より開催予定の厚生労働省「訪日外国人旅行者に対する医療の提供に関する検討会」で示す予定の日医からの提言に対しても率直な意見を求めた。

続いて、横倉会長が委員長に渋谷健司東大大学院教授、副委員長に堤康博福岡県医師会副会長、豊田秀三広島県医師会副会長をそれぞれ指名。渋谷委員長には横倉会長から、諮問「地域医療における外国人医療提供体制のあり方について」が手交された。

議事に先立ち、あいさつした迫井正深厚労省審議官は、各医師会の日頃の対応に感謝の意を示した上で、政府、厚労省の取り組み状況を説明。「今後は、拠点となる医療機関、地域の選定を行うとともに、診療マニュアルの策定にも取り組んでいきたいと考えているので、引き続きの協力をお願いしたい」と述べた。

議事では、まず、渋谷委員長が「日本の医療

の国際化に向けて」と題して講演。外国人が医療機関を訪れる可能性は想像以上に高く、各地域・各医療機関の特性を考慮した対応が求められるとともに、外国人への対応は、日本人患者における課題解決や経営力向上の契機にもなると指摘した。

引き続き、各医師会や団体の取り組み状況について報告が行われた。

伊藤利道北海道医師会常任理事は、道医が実施した「外国人患者受入に関するアンケート調査」の結果を説明した上で、今後必要なこととして、医療通訳者並びにIT導入に向けた予算の確保等を挙げた。

島崎美奈子東京都医師会理事は、都医の具体的な取り組みを紹介。今後の課題として、「医療通訳の質の向上」「利便性のある翻訳ツールの開発」等があるとした。

齊藤典才石川県医師会理事は、同県医師会で実施している電話による医療通訳「メディフォン」の実証実験について報告。より多くの方に活用してもらえるよう、利用する側の医療機関からの要望を踏まえて改善していく意向を示した。

加藤雅通愛知県医師会理事は、あいち医療通訳システム推進協議会の活動を説明。派遣に当たって新たに必要となった知識等を提供するため、フォローアップ研修も実施しているとした。

城間寛沖縄県医師会理事は、外国人観光客患者の急増に伴う様々な問題は個々の医療機関で対応できるものではないと指摘。その上で、沖縄県における行政の対応として、「訪日客医療費未払いへの対応」「医療通訳への対応」を紹介した。

松岡かおり千葉県医師会理事は、成田赤十字病院で行われている外国人患者への対応を踏まえた課題を紹介し、「医療通訳の充実」「医療コーディネーターの育成」等について検討を行うことを求めた。

小林米幸AMD A国際医療情報センター理事長は、同センターの電話医療・医事相談事業について報告。医療通訳に関する費用負担は医療機関、患者共に困難であり、国の委託を受けた

電話通訳事業として行うことが適切との考えを示した。

その後は第1回目の委員会ということで、各地域の課題や取り組み等について、フリートーキングが行われた。

委員会では、その下に「訪日外国人に対する医療」「在留外国人に対する医療」をテーマとした2つのワーキンググループを設け、検討を進めていくことにしており、当日も、本委員会終了後に両WGにより活発な議論が行われた。

(平成30年10月30日)

■「診療報酬の補填は限界」追記 — 消費税分科会が整理案 —

中医協「医療機関等における消費税負担に関する分科会」(分科会長＝荒井耕・一橋大学大学院経営管理研究科教授)は11月21日、消費税率10%への引き上げに向けた議論の整理案について分科会長一任で取りまとめた。ただ、整理案には控除対象外消費税問題を「診療報酬で補填することは限界」などを分科会として追記することを確認した。整理案は修正した後、12月の中医協総会に提案する。

整理案では、2019年度診療報酬改定に当たって「税率が5%から8%に引き上がった部分も含めた、消費税率5%から10%の部分について、補填状況が是正される配点」とする考えを明記。その上で19年度改定では▽課税経費率▽入院料の配点▽初・再診料と入院料の配分▽使用するデータ▽個別項目一などに関する方針を明示した。その上で、14年度改定と同様に「基本診療料・調剤基本料に点数を上乗せすることを中心に対応し、『個別項目』については基本診療料・調剤基本料との関係上、上乗せしなければ不合理に

なると思われる項目等に補完的に上乗せする」と記載した。

課税経費率の見直しや入院料シェアを考慮するなどの手法を取り入れた場合の消費税負担3%分の補填率等のシミュレーションの結果も示した。それによると病院が100.6%(16年度補填状況調査85.0%)、一般診療所99.8%(111.2%)、歯科診療所98.7%(92.3%)、特定機能病院102.5%(61.7%)などとなった。

議論では、個別項目の扱いについて、支払い側の吉森俊和委員(全国健康保険協会理事)が「シミュレーションを見ると全体的には不公平感がなくなったとすれば、このやり方を用いることで理解しなければならないだろう」と述べ、整理案に理解を示した。幸野庄司委員(健保連理事)は整理案について「診療報酬で補填するのは限界だ」という文言を加筆すべきだ」と述べたほか、患者の視点からの文言を追記するよう求めた。

これに対して、日医の中川俊男副会長も、控除対象外消費税問題について「診療報酬で補填することの限界という意見には賛同できる」と同調し、分科会としての整理案に加筆することになった。ただ、支払い側が求めた「患者の視点に考慮」というような記載には反対とした。

また、中川副会長は整理案について「19年度改定を行ったら定期的に検証して診療報酬改定ごとに是正するという意味も含まれるのか」と質問。厚生労働省保険局の森光敬子医療課長は「10%への引き上げ後の補填状況は、必要なデータがそろい次第速やかに、継続的に調査したいと考えている」と答えた。中川副会長は「データを速やかにそろえ、結果を速やかに公表すべき」と強く求めた。

(平成30年11月23日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師国保組合だより

保健事業のご案内

医師国保組合では、各種保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。身体の状態をチェックする良い機会です。ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※上記対象者は自院で実施されても請求できます。費用については、送付しております「健康診断個人票」の検査項目に対して助成します。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。 (予約は当組合に直接お電話ください) ①実 施 日：平成31年1月20日(第3日曜日)、2月3日(第1日曜日)、 2月17日(第3日曜日)、3月3日(第1日曜日) ②定 員：各30名

2 歯科健康診査

対 象 者	被保険者全員(組合員とその世帯に属する方)並びに高齢組合員
実施機関	宮崎県歯科医師会の会員である歯科医院
健診内容	* AまたはBコースをお選びいただけます(健診のみ実施も可)。 Aコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング Bコース 歯科健康診査+歯石除去・歯のクリーニング+フッ素塗布 ※歯石除去は保険診療の歯石除去とは内容が異なります。
申 込・受診方法	①組合員宛にお送りしている申込書に記入の上、組合宛にファックスしてください。 無料券、歯科健康診査票(3枚複写)、質問票を人数分送付します。 ②歯科医院へ受診の予約をしてください。 *宮崎県歯科医師会の会員であるかを必ずご確認ください。 ③健診当日は、無料券、歯科健康診査票(3枚複写)、質問票、被保険者証を歯科医院へご持参ください。 ※自己負担はございません。

3 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助 2) 低線量ヘリカルCT肺がん検診 3) 脳ドック等の補助
4) インフルエンザワクチン接種補助 5) 肺炎球菌ワクチン接種補助

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から14日以内に年金事務所へ届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>



平成30年10月2日(火)第8回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 平成30年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

12月1日(土)、日本医師会館に於いて「女性に寄り添う産婦人科医療のあり方について」をテーマに開催される講習会で、嶋本理事の出席が承認された。

2. その他

①第30回日本医学会総会2019中部の事前参加登録について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9月末日現在の会員数について

3. 9/27(木)(県庁)県地域医療対策協議会について

4. 9/28(金)(宮観ホテル)損保ジャパン日本興亜との懇談会について

5. 9/28(金)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会について

6. 9/28(金)(県医)治験セミナーについて

7. 9/27(木)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について

8. 11/1(月)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

9. 9/27(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の集団的個別指導について

10. 9/29(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・管理者研修会について

11. 9/29(土)(県医)県有床診療所協議会総会・講演会について

平成30年10月9日(火)第9回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険医代表)の推薦について

任期満了(平成30年12月末日)に伴う推薦依頼で、県医社保・国保審査委員会委員の選任基準(内規)に従い、今後、県医師会及び郡市医師会並びに各専門分科医会に推薦依頼を行うことが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①12/1(土)(生目の杜運動公園)スミセイウエルネスセミナー名義後援のお願いについて

→健康増進や病気(がん、認知症等)の予防、健康寿命の延伸等を目的に開催されるセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

3. 11/10(土)(長崎県医師会館)日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック別会議の開催について

日本医師会女性医師支援センター事業の一環として開催されるブロック会議で、荒木常任理事と金丸常任理事が出席することが承認された。

4. 平成31年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業提案及び意向調査結果について

各郡市医師会等を通じて照会した結果、事業区分Ⅰ(地域医療構想の達成に向けた事業)に関する事業1件の提出があり、事

業内容等を精査することとなった。また、病床の機能分化・連携促進基盤整備事業(施設整備・設備整備)に係る実施意向調査については、3医療機関の要望を県に回答することが承認された。

5. 生活情報誌「きゅんと」への寄稿文のお願いについて

毎月2回、主に女性及びファミリー層向けに発刊している生活情報誌で、専門分科医会等の協力を得ながら、「HEALTH 医師の健康コラム」に健康教育の一環として協力することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 10/6(土)(鹿児島)九医連常任委員会について
3. 10/9(火)(ニューウェルシティ宮崎)みやざき愛の献血運動推進県民大会について
4. 10/6(土)(鹿児島)九医連第1回各種協議会について
5. 10/9(火)(県医)治験審査委員会について
6. 平成30年度地域医療介護総合確保基金(医療分)に係る国庫内示について
7. 10/3(水)(日医)日医産業保健委員会について
8. 10/4(木)(県医)健康スポーツ医学委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 宮崎県医師連盟執行委員会の開催について
11月27日(火)に参議院議員の羽生田たかし先生が来県されるのに合わせ、県医師連盟執行委員会を開催すると共に、羽生田先生に中央情勢報告を行っていただくことが承認された。

平成30年10月23日(火)第15回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名(県医のみ)が承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①平成31.1/27(日)(県立看護大)第3回周産期グリーフケアセミナーの名義後援について

→周産期におけるグリーフケアを理解し、医療関係者と一般の方との認識のギャップを無くすことを目的に開催されるセミナーで名義後援を行うことが承認された。

- ②平成31.2/9(土)グリーフケア講演会の名義後援について

→大切な人をなくしてしまった時の心の在り方や寄り添い方などを学ぶことを目的に開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県地方独立行政法人評価委員会委員の推薦について

→公立大学法人が達成すべき中期目標等について意見を述べると共に、業務実績に対して客観的な評価を行う委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

- ②宮崎県個人情報保護審査会委員の委嘱について

→保有個人情報の開示及び利用停止並びに不作為に対する審査請求の審議等を行うために設置される審議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、広報・情報担当の荒木常任理事を推薦することが承認された。

4. 肝炎患者の実態把握のための医療機関へのアンケート調査について

検診等で発見される又は気付かれないまま放置されている肝炎患者を適切に医療に結び付けるために行われる実態把握のアン

ケート調査で、主体となる宮崎県肝炎疾患連絡協議会に、医療機関情報の提供等を通じて協力することが承認された。

5. 10/25(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、佐々木(究)理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 11/15(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導等の実施に係る立会について

4 医療機関を対象に行われる個別指導で、嶋本理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 11/16(金)・17(土)(鹿児島)九州医師会連合会「第374回常任委員会」、「第116回臨時委員総会」並びに「九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会」の開催について

九医連諸会議の出欠確認が行われ、役員で九医連常任委員会に提出したい質問がある場合には事務局に申出を行うと共にその取扱いは会長に一任することが承認された。

8. 平成31. 2/ 2(土)(鹿児島)九州医師会連合会平成30年度第2回各種協議会の開催種目について

「地域医療」、「医療保険」、「介護保険」の対策協議会を希望すると共に、各種協議会の前に、医療事故調査制度担当理事連絡協議会の開催を要望することが承認された。

9. 11/20(火)(日医)平成30年度第2回都道府県医師会長協議会の運営について

河野会長の出席が確認され、役員で「地域医療対策協議会」、「地域医療構想調整会議」に関連する質問がある場合には、今週中に事務局に申し出ると共にその取扱いは会長に一任することが承認された。

10. 12/ 4(火)第2回各郡市医師会長協議会の開催について

都道府県医師会長協議会(11/20)の報告を中心に開催する協議会で、当日のスケジュール等の確認が行われ、郡市医師会に案内すると共に提出議題等を照会することが承認された。

11. 平成31. 5/ 3(金)・4(土)(岐阜)第3回全国医師ゴルフ選手権大会について

日本医師会と全国医師協同組合連合会が共催する選手権大会で、本県を代表する参加者の補助として、県医師会と医協が折半して、1人5万円×2名を行うことが承認された

12. 11/ 2(金)(東京)女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議の開催について

厚生労働省の女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業の一環として、大学、行政、医師会の担当者が一堂に会し開催される全国会議で、金丸常任理事が出席することが承認された。

13. 業務委託について

①災害時リハビリテーション機能強化事業の委託契約について

→被災地支援及び被災時対応に特化した研修会を開催することによって、人材育成及び体制整備を推進し、地域におけるリハビリテーション機能の強化を図ることを目的とする事業で、契約を締結することが承認された。

②訪問救急救急教室事業の委託契約について

→県小児科医会の協力を得て、小児科医師を保育所や幼稚園に派遣し、保護者・職員等を対象に小児救急の基礎知識や正しい受診のあり方を伝える研修事業で、契約を締結することが承認された。

③宮崎県主治医研修の委託契約について

→適切な要介護認定に資すること等を目的に、主治医意見書の記載方法等の研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。

14. 平成31. 1 /27(日)(日医)小児在宅医療に関する人材養成講習会の受講者の推薦について
地域の小児在宅医療の人材育成を支える高度人材の養成を目的に開催する研修会で、高村常任理事の出席と県立宮崎病院に人選をお願いすることが承認された。

15. 11・12月の行事予定について

11月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 10/10(水)(支払基金)支払基金幹事会について
3. 10/14(日)(宮崎市)宮崎市郡医師会病院等移転新築工事起工式について
4. 10/17(水)(県自治会館)宮崎県町村会政策懇談会及び意見交換会について
5. 10/17(水)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会特別講演会について
6. 10/10(水)(宮大医学部)宮崎大学医学部解剖体追悼式について
7. 10/10(水)(日医)日医医師会共同利用施設検討委員会について
8. 10/12(金)(県医)保険指導に関する打合せ会について
9. 10/12(金)(県医)広報委員会について
10. 10/14(日)(日医)医療安全推進者養成講座講習会について
11. 10/22(月)(県医)女性医師委員会について
12. 10/13(土)(シーガイア)病院部会・医療法人部会合同研修会について
13. 10/13(土)・14(日)(県医)ICLS指導者養成ワークショップ及びACLS研修会について
14. 10/10(水)(日医)日医勤務医委員会について
15. 10/11(木)(日医)産業保健活動推進全国会議について
16. 10/14(日)(日医)JMAT研修基本編について
17. 10/12(金)(日医)日医小児在宅ケア検討委員会について

18. 10/20(土)(県医)かかりつけ医認知症対応力向上研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 11/20(火)(東京プリンスホテル)参議院議員自見はなこさんを励ます会について

「自見はなこさんを励ます会」に協力すること及び河野委員長が出席することが承認された。

2. 11/25(日)(ホテルニューオータニ)「参議院議員羽生田たかし君を励ます会」開催のご案内について

「羽生田たかし君を励ます会」に協力すること及び「全国医師会・医師連盟医療政策研究大会」の参加者に案内することが承認された。

3. 第25回参議院比例代表推薦候補者の推薦状について

11月27日(火)に開催する県医師連盟執行委員会に、羽生田たかし先生の推薦を上程すること及び各郡市医師連盟に推薦及び推薦書の提出をお願いすることが承認された。

4. 羽生田たかし先生の支援について

日本医師連盟の要請を受け、各郡市医師連盟の「後援会活動におけるサポーター名簿の獲得目標数」、「選挙における獲得得票の目標数(下限値)」を設定すると共に、後援会活動における具体的な支援方法について、依頼文書を発出することが承認された。

5. 10/29(月)(ホテルメリージュ宮崎)「参議院議員 長峯誠モーニングセミナーのご案内」について

月曜日の早朝(8:00)の開催のため事務局対応とすることが承認された。

6. 11/4(日)河野しゅんじ後援会事務所開きのご案内について

河野委員長が公務出張中のため、山村常任執行委員が対応することが承認された。

県 医 の 動 き

(11月)

1	医療保険請求事務実技試験 (日医)日医設立記念医学大会 (都城コアカレッジ)医療保険請求事務実技試験 医師国保組合理事会(秦理事長他) 宮崎市との妊婦健診等に関する協議会 (嶋本理事)	15	社会保険医療担当者の個別指導(嶋本理事) 自民党県連選挙対策委員会 (日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事) 日医社保指導者講習会復講(TV会議)(会長他) 救急災害医療対策委員会(山村副会長他)
2	(東京)女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議(金丸常任理事)	16	(鹿児島)九医連常任委員会(会長) (鹿児島)九医連臨時委員総会(会長他)
3	県医親善ゴルフ大会(山村副会長他) (長崎)全国医師会勤務医部会連絡協議会 (金丸常任理事他)	17	県産婦人科医会ALSOプロバイダーコース (鹿児島)九医連委員・九州各県役員合同協議会(会長他) (鹿児島)九州医師会総会・医学会(会長他)
3 (4	(北海道)全国医師協同組合連合会通常総会 (河野理事長他)	18	(鹿児島)九医学分科会・記念行事 県産婦人科医会ALSOプロバイダーコース
4	河野しゅんじ後援会事務所開き (山村常任執行委員)	19	生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)(会長他) 医学会誌編集委員会(濱田副会長他)
5	県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会(三者協議会)(濱田副会長他)	20	(日医)都道府県医師会長協議会(会長他) (東京)参議院議員自見はなこさんを励ます会 (河野委員長) 医療安全対策セミナー(TV会議)(小牧専務理事)
6	母体保護法指定医師審査委員会 (濱田副会長他) 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会 (会長) 治験審査委員会(荒木常任理事他) 第16回常任理事協議会(会長他)	21	広報委員会(荒木常任理事他)
7	県訪問看護推進協議会(池井常任理事) 県慢性腎臓病対策推進会議(Mz-CKDI)代表者会議(池井常任理事)	23 (24	医療メディエーター研修会(基礎編) (河野理事長他)
8	宮崎銀行との懇談会(会長他) 介護保険委員会(石川常任理事) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事)	25	(東京)全国医師会・医師連盟 医療政策研究大会(河野委員長他) (東京)参議院議員羽生田たかし君を励ます会 (河野委員長他)
9	(日医)日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 県議会自由民主党との意見交換会 (河野委員長他) 県外科医会秋期講演会	26	医協会計監査(河野理事長他) 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)(金丸常任理事)
10	(長崎)女性医師支援センター事業九州ブロック会議(荒木常任理事他) 産業医研修会(TV会議)(佐々木常任理事)	27	医協理事会(河野理事長他) 第11回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 県医連執行委員会(河野委員長他)
11	世界糖尿病デー市民公開講座(金丸常任理事)	28	労災診療指導委員会(川野理事) 医学賞選考委員会(濱田副会長他)
12	(延岡)労災診療費算定実務研修会 県HTLV-1母子感染対策協議会(濱田副会長)	29	(日医)情報通信訓練/衛星利用実証実験(南海トラフ大震災想定訓練)(TV会議) (小林市)社会保険医療担当者の個別指導 (園田理事) 県感染症危機管理研修会(TV会議) (高村常任理事他)
13	医協理事・運営委員合同協議会(河野理事長他) 第10回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会(会長他)	30	(日医)日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会(TV会議)(石川常任理事) 第一生命保険との懇談会(会長)
14	県女性医師等キャリア支援連絡協議会 (荒木常任理事) 支払基金幹事会(会長) 広報委員会(荒木常任理事他)		

追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

ひ たか たか のり
日 高 隆 徳 先生

(昭和10年9月15日生 83歳)

弔 辞

本日、亡き日高隆徳先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、去る11月1日に、お亡くなりになられたとの、突然の知らせに驚き、今、先生の御遺影に向かい、お別れの言葉を申し上げることになろうとは、私共医師会の重鎮ともいふべき先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げます言葉もございません。

ましてや、ご家族をはじめ、ご遺族、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申し上げる次第でございます。

先生は、昭和10年9月15日に、旧東臼杵郡北浦町で生をうけられました。その後、医学の道を志になり、昭和35年、日本医科大学医学部をご卒業されておられます。その後、酒田市立病院において実地修練の後、東京都板橋区木村病院の勤務を経られ、その後、延岡に戻られまして、旭化成健康保険組合病院のご勤務となられております。

昭和53年には、地域住民の切なる希望にお応えになられ、延岡市の平原町に日高内科医院をご開業なさいました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理の指導にご尽力をいただきました。さらには公衆衛生、地域医療についても深い関心と信念を持ち、昼夜を問わず献身的な診療を行って参られました。



また、先生にはご多忙な診療の傍ら、昭和61年からの2期、4年間は延岡市医師会理事となられ、医師会事業運営にもご尽力をいただいております。

先生のこれまでの地域医療に尽くしてまいられましたご功績といたしまして、学校保健・学校安全に関する功労、医療功労に関する功労、並びに公衆衛生事業に関する功労などによる、宮崎県知事表彰、宮崎県教育長表彰、日本協会長表彰など、数々の輝かしいご功績を残しておられます。

このように、延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、痛恨の極みであります。

先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、ご令嬢の佳子先生が立派にご活躍され、今後も医師として地域医療に貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療にたいし尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同、地域医療の発展向上に、一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げ、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

日高隆徳先生、どうぞ安らかに眠りください

平成30年11月3日

延岡市医師会

会長 吉 田 建 世

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2018年11月1日～11月25日

1	沈黙のパレード	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
2	日本国紀	百 田 尚 樹	幻 冬 舎
3	下町ロケット ヤタガラス	池 井 戸 潤	小 学 館
4	人魚の眠る家	東 野 圭 吾	幻 冬 舎
5	頭に来てアホとは戦うな！	田 村 耕 太 郎	朝日新聞出版
6	スマホを落としたけなのに	志 駕 晃	宝 島 社
7	バカとつき合うな	堀 江 貴 文	徳 間 書 店
8	フーガはユーガ	伊 坂 幸 太 郎	実業之日本社
9	日本が売られる	堤 未 果	幻 冬 舎
10	ルージュ	誉 田 哲 也	光 文 社

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b, c	b	c	e	b, d	e	a, b, c	a	a	e

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年11月12日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	2	2
麻酔科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 66人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
平成30年度	1	2	3
平成16年度から累計	47	19	66

3. 求人登録 93件 346人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	101	79	22	消化器外科	4	2	2
外科	30	24	6	乳腺外科	3	3	0
整形外科	26	22	4	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	2	1	1
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	10	7	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	13	3	皮膚科	5	2	3
麻酔科	13	10	3	婦人科	2	2	0
眼科	9	6	3	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	12	11	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	3	3	0	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	12	9	3
救命救急科	9	9	0	合計	346	273	73

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230195	宮崎大学安全衛生保健センター	宮 崎 市	問わず	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年11月12日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡(251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前 : _____

ご所属 : _____

TEL : _____ FAX : _____

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年11月27日

12			月			
1	土	12:15 長峯参議院議員との面談 13:00 (日医)家族計画・母体保護法指導者講習会 14:00 松下参議院議員との面談	15	土	9:00 指導医のための 教育ワークショップ 14:00 県産婦人科医会 J-CIMELSベーシックコース 15:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診 研修会)(TV会議)	国 保 審 査
2	日	11:15 (東京)全国有床診療所連絡協議会役員会				
3	月	19:00 県医中間監事監査				
4	火	17:30 治験審査委員会 18:30 第12回全理事協議会 19:20 各都市医師会長協議会	16	日	8:00 指導医のための 教育ワークショップ 9:00 県産婦人科医会 J-CIMELSベーシックコース	社 保 審 査
5	水	19:00 都城市北諸県医師会忘年会 19:00 自殺対策うつ病研修会(TV会議)				
6	木	13:30 (日医)日本糖尿病対策推進会議総会 13:30 社会保険医療担当者の個別指導 19:00 宮崎の医療を考える会(若手記 者と広報委員会との勉強会)	17	月	17:00 地域医療における働きやすい 環境を考える会学生向けセミナー 19:00 西都市西児湯医師会忘年会	
7	金	10:00 医師キャリア形成及び宮崎県地域 医療の充実に向けた関係者協議 13:00 (日医)日医医師会共同利用施設 検討委員会 19:00 向精神薬の長期処方に関する研 修会(TV会議)	18	火	18:00 医協理事会 18:30 第13回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 役職員懇談会	社 保 審 査
			19	水	19:00 広報委員会	
			20	木	13:00 社会保険医療担当者の個別指導 19:00 医師会立看護学校担当理事 連絡協議会	
8	土	13:30 県訪問看護ステーション連絡協 議会総会・研修会 18:00 県産婦人科医会全理事会	21	金	16:00 県医療審議会 18:00 県がん対策審議会	社 保 審 査
9	日	10:00 (日医)女性医師支援担当者連絡会				
10	月		22	土		
11	火	19:00 延岡市医師会会員忘年会 19:00 医師国保組合理事会	23	日	(天皇誕生日) 12:30 (福岡)日本プライマリ・ケア 連合学会九州支部臨時役員会	社 保 審 査
12	水	13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 13:30 宮崎県地域両立支援推進チーム(協議会)	24	月	(振替休日)	
13	木	13:00 社会保険医療担当者の個別指導 13:30 (日医)都道府県医師会医事紛争 担当理事連絡協議会 13:30 都道府県医師会医事紛争担当理 事連絡協議会(日医TV会議) 15:00 (日医)日医予防接種・感染症危 機管理対策委員会	25	火	19:00 第17回常任理事協議会	
			26	水	15:00 労災診療指導委員会	社 保 審 査
			27	木		
			28	金		
14	金	18:30 指導医のための教育ワークショッ プ打合せ会 19:00 広報委員会	29	土	(年末休業)	社 保 審 査
			30	日	(年末休業)	
			31	月	(年末休業)	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年11月27日

1			月		
1	火	(年始休業)	16	水	13：15 県総合計画審議会・専門部会合同会議 19：00 健康スポーツ医学セミナー
2	水	(年始休業)	17	木	
3	木	(年始休業)	18	金	14：00 (日医)日医勤務医委員会
4	金	13：00 新年賀詞交歓会	19	土	14：30 産業医研修会(TV会議)
5	土	18：30 県医師連盟執行委員会 19：00 三師会合同新春懇談会	20	日	9：00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会
6	日		21	月	
7	月		22	火	19：00 第19回常任理事協議会※予定
8	火	19：00 第18回常任理事協議会※予定	23	水	19：00 広報委員会
9	水	16：00 支払基金幹事会 18：30 病院部会・医療法人部会合同理事会	24	木	13：00 (日医)日医学術推進会議 14：00 (日医)日医小児在宅ケア検討委員会
10	木	19：00 高次脳機能障がい講演会(TV会議) 19：30 県産婦人科医会常任理事会	25	金	19：00 県外科医会理事会
11	金	19：00 広報委員会	26	土	14：30 自賠責保険研修会 15：00 県産婦人科医会冬期総会
12	土	15：00 日医生涯教育協力講座セミナー(TV会議)	27	日	
13	日		28	月	19：00 医療従事者向け認知症対応力向上研修会(TV会議)
14	月	(成人の日)	29	火	18：30 第14回全理事協議会※予定
15	火	13：30 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 14：20 (日医)都道府県医師会長協議会 16：30 (日医)日医連執行委員会	30	水	15：00 労災診療指導委員会
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			31	木	

↑
国
保
審
査
↓
社
保
審
査
↓

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第181回宮崎県眼科医会講習会 12月1日(土) 16:20～20:30 宮崎観光ホテル 参加費：3,000円	ドライアイの診かた，考えかた Up date 杏林大学医学部 眼科学教室 教授 山田 昌和	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	眼科の仕事は，cureとcare 立川総合病院 眼科 主任医長 安藤 伸朗	36 (1.0)	
第80回宮崎県精神科医会懇話会 12月1日(土) 17:30～19:00 宮崎観光ホテル	DLBの病態，診断，治療 筑波大学 人間総合科学研究科 教授 水上 勝義	29 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大日本住友製薬(株)
第77回宮崎整形外科懇話会 12月1日(土) 18:00～19:00 県医師会館 参加費：1,000円	脆弱性に伴う股関節周囲骨折に対する新しい治療法 久留米大学医学部 整形外科科学教室 教授 白濱 正博	57 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎市郡内科医会学術講演会 12月3日(月) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル	甲状腺診療のあれこれー保険診療のピットフォールー 古賀総合病院 名誉院長 栗林 忠信	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡 先
延岡医学会(第1回 県北呼吸器研究会) 12月4日(火) 19:15～20:45 県立延岡病院	肺癌診療における最新の知見(仮) 宮崎大学医学部 内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 松元 信弘	45 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 プリストル・マイヤーズスクイブ 小野薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	病診連携におけるインフルエンザ診療について 宮崎県立延岡病院 呼吸器内科 藤田 良佑	28 (0.5)	
	呼吸リハビリテーションの実際と効果 共立病院 副院長 赤須 晃治	45 (0.5)	
西臼杵地区学術講演会 12月5日(水) 19:00～20:00 ホテル高千穂	HP陰性時代の逆流性食道炎の治療 服部胃腸科 院長 櫻井 宏一	51 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株)
都城市北諸県郡医師会学術講演会 12月6日(木) 19:00～20:30 都城ロイヤルホテル	CKD患者に今できること 古賀総合病院 腎臓内科 腎センター長 久永 修一	2 (0.5) 18 (0.5) 24 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 鳥居薬品(株)
向精神薬の長期処方に関する研修会 【TV会議】 12月7日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会議場:都城,延岡, 日向,児湯,西都, 南那珂,西諸,西 臼杵(予定)】	不眠症治療の効率化をめざして 東京医科大学 睡眠学講座 教授 井上 雄一	20 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県精神科医会 宮崎県内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎市郡医師会産 業医研修会 12月8日(土) 14:15～17:20 宮崎市郡医師会館	労働衛生関係法令について 宮崎労働基準監督署 安全衛生課 課長 黒木 章寛 基礎研修の後期・生涯研修の専門研修会：1.5単位	6 (0.5) 12 (0.5) 13 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
	リワーク基礎講座 あいクリニック 院長 甲斐 恭子 基礎研修の後期・生涯研修の専門研修会：1.5単位	1 (0.5) 11 (0.5) 70 (0.5)	
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 12月11日(火) 19:00～20:30 ホテルベルフォー ト日向	ワクワク静脈学 静脈の病気がまるわかり！ ー静脈瘤レーザー治療からDOACまでー 西の京病院 血管外科センター センター長 今井 崇裕	14 (0.5) 24 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡薬剤師会 第一三共(株)
第218回宮崎県泌 尿器科医会 12月13日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル 参加費：5,000円	腎がんにおける「手術療法」のこれから… 一部分切除，原発巣摘除，術前療法ー 宮崎大学医学部 泌尿器科学講座 教授 賀本 敏行	65 (1.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第4回在宅医療 推進のための連 携・スキルアップ 研修会 12月13日(木) 19:00～20:00 県医師会館	終末期ケアのエビデンス 宮崎市郡医師会病院 緩和ケア内科 内藤 明美	81 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
宮崎肝炎連携セミ ナー 12月13日(木) 19:00～20:40 宮崎観光ホテル	透析患者におけるC型慢性肝炎抗ウイルス治療の現状 宮崎医療センター病院 副院長兼消化器・肝臓病センター センター長 宇都 浩文	15 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 ◇共催 宮崎県肝疾患懇話会 ※アッヴィ合同会社 ☎03-4577-1145 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会
	腎機能低下例も含めたC型肝炎の最新治療 北海道大学医学研究院 内科学分野消化器内科学教室 特任助教 須田 剛生	73 (1.0)	
県西地区肝炎対策 講演会 12月13日(木) 19:00～20:30 都城ロイヤルホテル	宮崎県におけるウイルス性肝炎治療の現状と課題 宮崎大学医学部 内科学講座消化器血液学分野 助教 岩切 久芳	8 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会 ◇共催 西諸医師会 ※ギリアド・サイエンシズ(株) ☎0120-506-985 ◇後援 都城市 三股町 小林市 えびの市 高原町
	ウイルス性肝炎治療の今後の展望 一当院における治療経験を踏まえてー 熊本医療センター 診療部長・消化器内科部長 杉 和洋	12 (0.5) 73 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 12月15日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場:都城,延岡, 日向,児湯,西都, 西諸】	肺がん検診のエビデンスと発見病変の外科治療 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 別府 樹一郎	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	明日から始める乳がん検診 宮崎県立宮崎病院 外科 副部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃癌の診断と治療 宮崎大学医学部附属病院 がん診療部 助教 中島 孝治	12 (0.5) (胃)	
	遺伝性大腸癌について 潤和会記念病院 外科 部長 佛坂 正幸	82 (0.5) (大腸)	
宮崎市郡外科医会 冬期講演会 12月17日(月) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル	切断指に対する再接着術 宮崎大学医学部 外科学講座形成外科学分野 病院教授 伊東 大	7 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第132回宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 12月19日(水) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	重症僧帽弁逆流に対する新たなカテーテル治療: 経皮的僧帽弁クリップ術の紹介 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 木村 俊之	9 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 富士製薬工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
	“かたち”からひも解く僧帽弁の“しくみ”と“治し方” 一僧帽弁の解剖と弁形成術一 総合病院 土浦協同病院 心臓血管外科 科長 真鍋 晋	9 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
県北産婦人科医会 (12月度例会) 12月22日(土) 18:00～19:15 延岡市医師会病院	子宮内膜症の病態と治療 九州大学医学研究院 生殖病態生理学 教授 加藤 聖子	4 (0.5) 7 (0.5)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 ※持田製薬(株) ☎0985-23-3130
第64回宮崎県耳鼻 咽喉科懇話会臨床 セミナー 1月10日(木) 18:50～20:50 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円	アレルギー性鼻炎の病態と修飾因子 一 成育生活環境・神経・免疫のクロストーク 東京大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授 近藤 健二	39 (0.5)	◇主催 日本耳鼻咽喉科学会 宮崎県地方部会 ◇共催 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301
	顔面神経麻痺の診断と治療 大阪医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 専門教授 萩森 伸一	31 (0.5) 38 (0.5)	
宮崎木曜会新年学 術講演会 1月10日(木) 19:00～20:15 MRT-micc	AIによる医療のパラダイムシフト 一 AIによる内視鏡診断を中心に一 がん研有明病院 内視鏡診療部上部消化管内科 副部長 平澤 俊明	9 (0.5) 52 (0.5)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287
平成30年度高次脳 機能障がい講演会 【TV会議】 1月10日(木) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸, 西 臼杵】	高次脳機能障がいのリハビリテーション 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 教授 渡邊 修	9 (0.5) 29 (0.5) 32 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
日医生涯教育協力 講座ー超高齢社会 における高齢者の トータルケア【TV 会議】 1月12日(土) 15:00～18:15 宮崎県医師会館 【TV会議会場： 都城、延岡、日向、 児湯、西都、南那 珂、西諸】	高齢者診療におけるフレイル・サルコペニアの重要性 名古屋大学医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授 葛谷 雅文	12 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 日本医師会 第一三共(株)
	高齢者のトータルケアー認知症についてー 野崎病院 認知症疾患医療センター センター長 宇田川 充隆	10 (1.0)	
	高齢者の脳血管疾患について 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座脳神経外科学分野 講師 大田 元	73 (1.0)	
	超高齢社会における運動器疾患のケアー ロコモティブシンドロームを中心にー 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科科学分野 教授 帖佐 悦男 生活習慣病に関する宮崎県の取組について 宮崎県福祉保健部 次長 日高 良雄		
平成30年度宮崎県 医師会健康スポー ツ医学セミナー 1月16日(水) 19:00～20:40 県医師会館	女性とスポーツについて 宮崎市郡医師会病院 産婦人科 明野 慶子	4 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	トップアスリートのメディカルサポートー サッカー日本女子代表の帯同を通じてー 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科科学分野 助教 山口 奈美	10 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 1月17日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		12 (0.5)	
		37 (0.5)	
		60 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会【TV会議】 1月19日(土) 14:30～18:30 県医師会館【TV会 議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	心の健康教育が企業を支える時代 一魅力あるリーダーを育てるために一 新潟県労働衛生医学協会 常務理事 産業カウンセラー・心理相談員 大西 金吾 基礎研修の後期研修会: 2単位 生涯研修の更新・専門研修会: 2単位	5 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	働き方改革とこれからの産業医活動 産業医科大学 産業衛生教授 浜口 伝博 基礎研修の後期研修会: 2単位 生涯研修の更新・専門研修会: 2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 1月24日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この1年間の産業保健の動向 一厚生労働省・報道発表資料と通達から一 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月25日(金) 19:00～21:00 県医師会館	心療内科・精神科連携における留意点(2) 産業保健相談員 西都病院 生涯研修の専門研修会：2単位 植田 勇人	1 (0.5) 5 (0.5) 9 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日本医療マネジメント学会第12回宮 崎県支部学術集会 2月2日(土) 9:30～16:30 都城市ウエルネス 交流プラザ 参加費 事前：2,500円 当日：3,000円	(10:35～11:35) 地域医療構想と地域包括ケアー地域連携の視点から一 産業医科大学医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉	9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 日本医療マネジメント学会 宮崎県支部 ◇後援 宮崎県医師会 都城市北諸県郡医師会 宮崎県歯科医師会 都城歯科医師会 都城市
	(11:45～12:30) 地域包括ケアシステム構築に必要な医科歯科連携 都城医療センター 歯科・口腔外科センター 医長 新屋 俊明	10 (0.5)	他 (連絡先) 都城医療センター ☎0986-23-4111
	(12:30～13:30) バラエティ現場から学ぶ！究極の人材笑育成 放送作家 Wまこと	4 (1.0)	
	(13:40～14:40) 患者と医療者協働する医療連携 認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子	4 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月7日(木) 19:00～21:00 延岡看護専門学校	この1年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成30年特定健康 審査等従事者研修 会【TV会議】 2月7日(木) 19:00～20:30 県医師会館【TV会 議会場：都城，延 岡，日向，児湯， 西都，南那珂，西 諸，西臼杵(予定)】	動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 医長 松浦 広英	75 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
平成30年度宮崎市 うつ病等医療連携 システム推進事業 研修会 2月8日(金) 18:45～20:30 宮崎市保健所	医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント 筑波大学医学医療系臨床医学域 災害・地域精神医学 教授 高橋 祥友	70 (1.5)	◇主催 宮崎市 (連絡先) 宮崎市保健所健康支援課 ☎0985-29-5286

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月14日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この1年間の産業保健の動向 ー厚生労働省・報道発表資料と通達からー 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第182回宮崎県眼科 医会講習会 2月16日(土) 16:50～19:00 宮崎観光ホテル 参加費：3,000円	実録緑内障診断・治療 日本医科大学 眼科学教室 講師 中元 兼二 ----- 角膜疾患の診療エッセンス 京都府立医科大学 感覚器未来医療学 教授 木下 茂	36 (1.0) 36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
向精神薬の長期処 方に関する研修会 2月21日(木) 19:00～21:00 宮崎市郡医師会館	不眠症治療の光と影 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (2.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第16回宮崎GERD 研究会(胃がん検診) 2月22日(金) 18:50～20:30 MRT-micc 参加費：500円	食道胃接合部癌とH. pylori陰性癌の病理 滋賀医科大学医学部 臨床検査医学講座 教授 木下 茂	47 (0.5) 49 (0.5) ⑦	◇主催 宮崎GERD研究会 ◇共催 ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150 第一三共(株)

お知らせ

第 19 回 宮崎県医師会医家芸術展 作品募集！

「会員先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、今年度も県立美術館にて開催いたします。前回は、59名の方々から138点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、とても素晴らしい芸術展となりました。また、入場者も1,495人を数え、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

下記の要領にて作品を募集いたしますので、会員先生及びご家族の皆様からのご出展を心よりお待ちしております。



【応募要領】

- 1 展示期間：平成31年3月27日（水）から31日（日）
- 2 場 所：宮崎県立美術館2F県民ギャラリー1・2
- 3 応募作品：絵画、写真、書道
- 4 応募資格：宮崎県医師会会員及び家族（高校生以上）
- 5 応募方法：出展希望の方は、県医師会ホームページから応募用紙をダウンロードしていただくか、もしくは応募用紙を送付しますので下記までご連絡ください。出展者名、出展部門、作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。
※ 作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いします。
- 6 応募締切：平成31年1月10日（木）
- 7 応 募 先：宮崎県医師会医家芸術展事務局
TEL：0985-22-5118, FAX：0985-27-6550



「新春随想」原稿募集



恒例になりました「新春随想」を平成31年1,2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

- 題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。
本文に関連した写真・イラスト等(1枚程度, カラー印刷はできません)
- 字 数** 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがありますのでご了承ください)
- 締 切** 平成30年12月10日(月)
- 宛 先** 宮崎県医師会広報委員会
- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
 - ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
 - ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
 - ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
 - ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返却を希望される方はその旨ご指示ください。
 - ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記の上お送りください。



診療メモ



「形成外科」診療について

JCHO宮崎江南病院 形成外科診療部長 だい あん たけ ひろ
大 安 剛 裕

宮崎県において病院診療を行っている形成外科医常勤施設は2018年現在、宮崎大学、宮崎江南病院(宮崎市)、都城市郡医師会病院(都城市)、大塚病院(西都市)、海老原総合病院(高鍋町)の5施設となりました。他県に比較すればまだまだ少ないとはいえ10年前には1施設のみだったことを考えれば大きな進歩と言えます。ただ、日本形成外科学会としても啓発活動の一環として5月5日をキズケアの日(キッズの日…ダジャレですね)として申請登録し、専門医のいる病院でのポスター掲示や市民公開講座などを行っています。いまだに「形成外科ってなににする科?」と聞かれることもあり、今回形成外科が扱う疾患について宮崎での実情も含めて少し詳しく紹介してみたいと思います。

1. 新鮮外傷、新鮮熱傷

創、擦過創、咬創、熱傷などに対する創処置を行います。形成外科各施設にて診療を行いますが、広範囲熱傷についてはICUのある大学や県病院などでの全身管理・集中治療を要します。近年、湯たんぽによる低温熱傷症例も増加しているようです。先進医療として培養表皮移植の適応も認められ、宮崎県では大学や県病院皮膚科にて治療が行われています。

2. 顔面骨骨折、顔面軟部組織損傷

前頭骨、眼窩、鼻骨、頬骨、頬骨弓、上下顎

骨などの手術治療を行います。

顔面軟部組織損傷では顔面神経を含めた解剖学的再建、形態の再建を行います。スポーツや殴打などで比較的次数の多い鼻骨骨折は整容的改善を要する場合入院手術を行います。顔面は交通外傷など頭部外傷を伴うことも多く、脳外科医の常勤する県病院や大学でも治療が行われています。

3. 唇裂・口蓋裂

500人に1人と言われる先天外表異常。生後3ヶ月に口唇裂、1歳半で口蓋裂、学童期に顎裂の手術を行います。二次修正としての鼻や口唇の修正手術も適宜行い、咬合異常も高度となれば上下顎骨切り手術なども行います。形成外科の扱う疾患としてひとつのカテゴリーを占める重要な疾患です。小児科や耳鼻科との連携も必要であり宮崎県では主に大学で治療が行われています。

4. 手足の先天異常、外傷

多指症や合指症、巨趾症など手足の先天異常に対して手術を行います。また外傷は切断指や血管神経損傷を伴う高度外傷など緊急で手術加療を行います。宮崎江南病院が手外科学会認定施設(県内3施設のみ)であることもあり、この分野の疾患を数多く取り扱っています。宮崎大学形成外科でも積極的に受け入れを検討してい

ただいています。

5. その他の先天異常

臍ヘルニアおよび臍突出症、埋没耳、小耳症など体表面の先天異常に対する手術を行っています。

6. 母斑、血管腫、良性腫瘍

皮膚及び皮下腫瘍、母斑、ガングリオンなど良性腫瘍の摘出手術を行います。いわゆる「あざ」などに対するレーザー治療の保険適応も拡大されており、レーザー設備のあるクリニックなどの施設で多く治療が行われています。

7. 悪性腫瘍およびそれに関連する再建

皮膚悪性腫瘍や軟部悪性腫瘍の切除、拡大切除後の欠損創に対して再建手術を行います。マイクロサージャリーの技術を用いて再建を行うことも多く、頭頸部癌の再建は耳鼻科と連携し主に大学病院で行われています。

また乳房再建についてはこれまで自家組織による再建のみであったものが2013年よりシリコンインプラントの保険適応(施設認定)が認められ、乳腺外科との連携で乳房再建症例も増加しています。

8. 瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド

傷跡の治療を行います。ケロイドは内服やステロイドテープなど保存的治療を行うことも多いですが、手術を行う際には電子線照射の併用が必須であり、照射設備のある放射線科と連携して治療を行います。

9. 褥瘡、難治性潰瘍

高齢化や糖尿病人口の増加などに伴い、下肢難治性潰瘍は近年症例数が劇的に増加しています。糖尿病や透析患者、虚血に伴う難治性潰瘍、壊疽に対しては血管内治療やバイパスなどによ

る血行再建治療を循環器内科、血管外科と連携して行っています。

また褥瘡は全身管理や原疾患のコントロールが重要であることは言うまでもなく、手術適応でない場合には施設や介護関係者への指導・啓蒙を行うことで在宅での治療を学会主導で進めています。

10. 美容外科

いわゆる保険外診療となります。二重瞼や隆鼻術、ヒアルロン酸注射など整容的な治療がそれぞれのクリニックにて行われています。病院診療は保険診療が主であるため基本的に美容外科手術は行っていない。

11. その他

上記に分類されない疾患となります。

日本形成外科学会ホームページより抜粋しますが、形成外科とは「身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質"Quality of Life"の向上に貢献する」外科系の専門領域です。新しい診療科ではありますが1958年に日本形成外科学会が誕生して60年、人間で言えば還暦となりました。「六十にして耳順ふ」とあるように日常診療においても形成外科医は患者さんや他科の先生方のご意見を素直に拝聴し、真摯に治療に取り組んでまいります。冒頭に紹介した施設以外にも形成外科を標榜するクリニックが数多くありますので体表面の外傷や異常などお困りの際にはお近くの形成外科へ一度ご相談ください。

平成30年 総目次 (No.821 ～No.832)

【表紙】

光のカーテン～北浦百景～	延岡市	日高利昭	1月号
池塘	延岡市	長沼弘三郎	2月号
夜のランディング	日向市	渡邊裕之	3月号
頭に毛が生えた	宮崎市	竹尾康男	4月号
歴史もゆかし - 藤 -	宮崎市	西村篤乃	5月号
涼の競演	日南市	新木るり	6月号
夏の海	都城市	酒井美絵子	7月号
黄昏時	国富町	原政樹	8月号
サーフィン女子	都城市	吉山登志子	9月号
霧島遠望	都城市	吉山絢子	10月号
只今，塩サウナ入浴中	日向市	康田明照	11月号
カップル	都城市	山路健	12月号

【会長のページ】

会 長 河 野 雅 行

年頭所感	1月号
医師の養成・教育	2月号
30年診療報酬改定	3月号
新専門医制度と医師不足	4月号
組織の外部評価について	5月号
再び有床診療所	6月号
30年度期執行部	7月号
厚生局指導について	8月号
医家芸術展	9月号
産業保健総合支援センター	10月号
ハラスメントについて	11月号
医療秘書について	12月号

【日州医談】

医師の働き方改革は可能か？～勤務医の立場から～	理事	岩村威志	2月号
地域における若手医師不足問題について	理事	米澤勤	3月号
電子メディア社会の子どもたち	理事	糸数智美	4月号

宮崎県における看護師・准看護師の育成問題を再考する	理 事	花 田 武 浩	5月号
子どもの運動器が危ない！－子どもからのロコモ対策－	理 事	帖 佐 悦 男	6月号
希望を紡ぐリハビリテーションに向けて	常任理事	石 川 智 信	7月号
医師の働き方改革における問題点	副 会 長	濱 田 政 雄	8月号
ベンゾジアゼピン系薬剤の長期処方は罪悪か？	副 会 長	山 村 善 教	9月号
自殺対策の現状と課題	常任理事	吉 田 建 世	10月号
医療メディーエーターと医療安全	常任理事	小 牧 齋	11月号
次世代医療基盤法について	常任理事	荒 木 早 苗	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	横 倉 義 武	1月号
年頭所感	顧 問	秦 喜八郎	1月号
年頭所感	顧 問	稲 倉 正 孝	1月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川 名 隆 司	1月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	飯 田 正 幸	1月号
年頭所感	延岡市医師会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	渡 邊 康 久	1月号
年頭所感	児湯医師会長	永 友 和 之	1月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松 本 英 裕	1月号
年頭所感	南那珂医師会長	島 田 雅 弘	1月号
年頭所感	西諸医師会長	内 村 大 介	1月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	佐 藤 元二郎	1月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	鯨 島 浩	1月号
年頭所感	内科医会長	小 牧 齋	1月号
年頭所感	小児科医会長	高 山 修 二	1月号
年頭所感	外科医会長	八 尋 克 三	1月号
年頭所感	整形外科医会長	川 野 啓一郎	1月号
年頭所感	皮膚科医会長	成 田 博 実	1月号
年頭所感	泌尿器科医会長	中 山 健	1月号
年頭所感	産婦人科医会長	濱 田 政 雄	1月号
年頭所感	眼科医会長	柴 田 博	1月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井 手 稔	1月号
年頭所感	精神科医会長	吉 田 建 世	1月号
年頭所感	放射線科医会長	平 井 俊 範	1月号

年頭所感	東洋医学会長	川 越 宏 文	1月号
年頭所感	透析医学会長	藤 元 昭 一	1月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河 野 俊 嗣	1月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上 克	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(1区)	武 井 俊 輔	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(2区)	江 藤 拓	1月号
年頭のご挨拶	衆議院議員(3区)	古 川 禎 久	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	羽 生 田 俊	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自 見 はなこ	1月号

【随想・随筆】

忘れ難い入れ墨	宮 崎 市	森 憲 正	3月号
久しぶりのガーデニング	西 都 市	友 成 久 雄	3月号
若山健海と『種痘人名録』についての考察	宮 崎 市	大 西 雄 二	3月号
西南戦争と宮崎の医療	宮 崎 市	大 西 雄 二	5月号
ご馳走について	宮 崎 市	杉 田 幸 雄	9月号
高齢の年男とタブレット	西 都 市	友 成 久 雄	9月号
International Social Dance(社交ダンス)のススメ	宮 崎 市	岩 村 威 志	9月号
啄木と牧水の出会いそして結核	宮 崎 市	大 西 雄 二	10月号
飲み屋 放浪記	宮 崎 市	谷 口 二 郎	11月号
24HEURES DU MANS 15-16 JUIN 1996	都 城 市	吉 永 徳 海	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

お土産付き胃カメラ検査	宮 崎 市	谷 口 二 郎	1月号
ヨーロッパ呼吸器学会報告：Ⅲ期非小細胞癌に対するデュルバルマブの可能性	高 鍋 町	重 永 哲 洋	1月号
真夜中のローレライ、黄昏のヴァルキューレ	日 南 市	北 村 應 旺	1月号
6回目の戌年に想う	宮 崎 市	押 川 紘一郎	1月号
還暦雑感	宮 崎 市	山 内 励	1月号
往診カバンとカメラ	宮 崎 市	松 浦 良 樹	1月号
傘寿に乾杯 - 人生は楽しく 生きがいを求めて -	宮 崎 市	田 島 直 也	1月号
日常診療における日々の疑問を大切に	宮 崎 市	原 田 勇一郎	1月号
温故知新	延 岡 市	堺 雅 彦	1月号

なぜ消えた教育勅語	延岡市	宝珠山	弘	1月号
戌年女です	宮崎市	佐藤	志保	1月号
2018年の巨人に期待すること	小林市	島名	昭彦	1月号
アッペに始まり, アッペに終わる	宮崎市	塩盛	建二	1月号
還暦に際して	宮崎市	加藤	丈司	1月号
4度目の年男	宮崎市	日高	淑晶	1月号
コペンハーゲンを知りませんか?	高鍋町	坂田	師通	2月号
県立宮崎病院新病院建設に向けて	宮崎市	阿久根	広宣	2月号
万物流転 - 庭と還暦 -	宮崎市	近藤	千博	2月号
富士登山の顛末	日向市	今給黎	承	2月号
紅楼夢	高鍋町	大森	史彦	2月号
還暦に思う	宮崎市	遠藤	豊	2月号
私の万年筆生活	延岡市	大重	明広	2月号
この世界の片隅に	宮崎市	北村	儀雄	2月号
現在の眼科医療について思うこと	日向市	稲原	芳生	2月号
筋書きのないドラマ	延岡市	平野	哲也	2月号
マラソンのきつさを吹き飛ばす方法	延岡市	能勢	直弘	2月号
引退	延岡市	木下	義美	2月号
趣味の山歩き	宮崎市	呉屋	朝和	2月号
のべおか国際食卓会議	延岡市	佐藤	信博	2月号
気根宇根	延岡市	長沼	弘三郎	2月号
今はまだ人生を語らず	宮崎市	釜付	弘志	2月号
記録を残すということ	宮崎市	緒方	健二	2月号
上弦の月のワームホール	宮崎市	丸山	治彦	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

脳塞栓症になって	宮崎市	大西	雄二	7月号
マイトリエという店	宮崎市	谷口	二郎	7月号
院長が何を考えているかわかりませんⅡ	宮崎市	田畑	直人	7月号
思えば遠くへ来たもんだ	延岡市	宝珠山	弘	7月号
やまひだれ	宮崎市	長嶺	元久	7月号
音楽と♪ともに	宮崎市	山田	琢也	7月号
ザリガニ事件	高鍋町	坂田	師通	7月号
アケボノツツジに包まれた縦走	延岡市	高崎	真弓	7月号

20年経過後新装移転した眼科クリニックの一症例	宮崎市	原田 一道	7月号
蘇る回想	宮崎市	永山 武章	8月号
米国胸部学会ATS 2018 報告 ベンラリズマブと気管支喘息治療の新展開			
	高鍋町	重永 哲洋	8月号
迷惑なタクシー	綾町	玉置 昇	8月号
湯の町の恋	都城市	貴島 俊英	8月号
ただいま絶賛回診中	日南市	北村 應旺	8月号
思い出	延岡市	松岡 文章	8月号
新理事	日向市	堀之内 和代	8月号
3度目の台北	高鍋町	大森 史彦	8月号
スマートな生活を	宮崎市	山本 雄一郎	8月号
さりながら	延岡市	長沼 弘三郎	8月号
クライアントとして AI にどう向き合うか	宮崎市	江藤 胤尚	8月号
名セリフ	宮崎市	下村 直也	8月号
その手の話	日向市	今給黎 承	8月号

【エコー・リレー】

おめでとうホークス日本一	小林市	吉村 雄樹	1月号
抵抗	延岡市	赤須 晃治	1月号
2017年開業までのできごと	宮崎市	山本 智将	2月号
アメリカ留学を終えて	宮崎市	小岩屋 宏	2月号
原点	宮崎市	杉江 悟	3月号
情報化社会	川南町	瀧井 英一	3月号
エコー・リレーいや今回はメタボ・リレーの巻	宮崎市	三橋 龍馬	4月号
ダイエット	宮崎市	足利 敬一	4月号
「食べる」という事	日向市	今給黎 承	5月号
烏賊	都城市	福島 克彦	5月号
働き方改革	都城市	木原 浩一	6月号
早起きはエライのか？	宮崎市	小島 岳史	6月号
ホノルルマラソン	宮崎市	桑原 正知	7月号
#サーフィン#移住#宮崎	宮崎市	石田 翔太郎	7月号
還暦を迎えて	日南市	波種 年彦	8月号
至福の時	串間市	久富木 冠	8月号
マラソンとマッチング	国富町	長濱 博幸	9月号

宮崎に帰ってきて	都 城 市	古 郷 博 紀	9月号
小林で還暦を迎えます	小 林 市	坪 内 斉 志	10月号
地元に帰って	小 林 市	入 佐 浩 史	10月号
今 生きている 感謝	宮 崎 市	下 蘭 孝 司	11月号
延岡での研修を振り返って	延 岡 市	小 川 宗一郎	11月号
同級生から同級生へ	宮 崎 市	東 野 哲 也	12月号
最高の休日	都 城 市	福 永 幹	12月号

【叙位・叙勲】

平成 29 年 1 月～ 12 月までの叙勲及び・表彰・祝賀受賞会員			1月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	川 島 謙一郎	1月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	濱 田 健 三	1月号
藍綬褒章	宮崎市郡医師会	高 宮 眞 樹	1月号
瑞宝双光章	宮崎市郡医師会	立 山 浩 道	7月号
保健衛生功労により旭日双光章	宮崎市郡医師会	中 村 典 生	12月号
警察協力功労により瑞宝双光章	都城市北諸県郡医師会	石 井 芳 満	12月号
保健衛生功績により藍綬褒章	日向市東臼杵郡医師会	田 中 洋	12月号

【表彰・祝賀】

救急医療功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	比 嘉 利 信	1月号
救急医療功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	松 山 幹太郎	1月号
救急医療功労により県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	金 丸 吉 昌	1月号
救急医療功労により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	牧 野 剛 緒	1月号
産科医療功労により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	宮崎市郡医師会病院	1月号
公衆衛生事業功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	石 川 誠 一	1月号
公衆衛生事業功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	釘 宮 博 志	1月号
公衆衛生事業功労により県知事表彰	延岡市医師会	早 田 泰 英	1月号
公衆衛生事業功労により県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	青 柳 淳太郎	1月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	福 富 ア ヅ	1月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	寺 本 昭 三	1月号
医療功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	中 村 周 治	7月号
医療功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	坂 元 一 久	7月号
医療功労により県知事表彰	延岡市医師会	野 田 寛	7月号

医療功勞により県知事表彰	児湯医師会	黒 木 宗 俊	7月号
医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	友 成 久 雄	7月号
警察部外功勞者表彰(警察協力章)	宮崎市郡医師会	大 西 雄 二	8月号
救急医療功勞により県知事表彰	宮崎市郡医師会	上 田 孝	10月号
救急医療功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	飯 田 正 幸	10月号
救急医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	井 上 博	10月号
救急医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	鶴 田 明 土	10月号
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	迫 田 耕一朗	10月号
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	丸 田 茂 徳	10月号
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	高 城 健 司	11月号
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰	延岡市医師会	大喜多 博	11月号
精神保健福祉事業功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	友 成 久 雄	11月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	竹 田 一 雄	11月号
国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰	宮崎市郡医師会	松 尾 剛 志	12月号
国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰	宮崎市郡医師会	橋 口 典 久	12月号
国民健康保険関係功勞により国保連合会中央会長表彰	延岡医師会	富 田 精一郎	12月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰	南那珂医師会	谷 口 浩	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	児湯医師会	永 友 淳 司	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	西諸医師会	川井田 繁	12月号

【あなたできますか？】

各 号

【宮崎県感染症発生動向】

各 号

【メディアの目】

薩摩3S	南日本新聞社 宮崎支局長	重 昌 修 一	2月号
スポーツ愛好で健康増進	NHK 宮崎放送局 放送部長	濃 明 修	3月号
「逆行」か「先端」か	朝日新聞社 宮崎総局長	宮 崎 太 介	4月号
春の1日	共同通信社 宮崎支局長	上 野 敏 彦	5月号
根付くかエシカル消費	日本経済新聞 支局長	鈴 木 豊 之	6月号

◎通信社って？	時事通信社	宮崎支局長	高 城 靖	7月号
鉄路の行方	読売新聞社	宮崎支局長	佐々木 浩 人	8月号
土呂久鉾害史に刻まれた医学者たち長				
	西日本新聞社	宮崎支局長	中 山 憲 康	9月号
災害と医療	毎日新聞	宮崎支局長	宝 満 志 郎	10月号
“平成の記憶” リゾート	UMKテレビ宮崎	報道部長	岩 下 秀 博	11月号
変わる価値観	宮崎日日新聞	報道部長	小 川 祐 司	12月号

【郡市医師会だより】

延岡医師会(メイン)	理 事	金 井 一 男	2月号
日向市東臼杵郡医師会(メイン)	会 長	渡 邊 康 久	3月号
児湯医師会(メイン)	理 事	野津手 大 輔	4月号
西都市西児湯医師会(メイン)	会 長	松 本 英 裕	5月号
宮崎市郡医師会	会 長	川 名 隆 司	8月号
都城市北諸県郡医師会	会 長	田 口 利 文	8月号
延岡市医師会	会 長	吉 田 建 世	9月号
日向市東臼杵郡医師会	会 長	千代反田 晋	9月号
児湯医師会	会 長	永 友 和 之	10月号
西都市西児湯医師会	会 長	松 本 英 裕	10月号
南那珂医師会	会 長	中 村 彰 伸	11月号
西諸医師会	会 長	内 村 大 介	11月号
西臼杵郡医師会	会 長	佐 藤 元二郎	12月号
宮崎大学医学部医師会	会 長	鯨 島 浩	12月号

【国公立病院だより】

県立日南病院	病 院 長	峯 一 彦	3月号
国立病院機構都城医療センター	病 院 長	冷牟田 浩 司	5月号
JCHO 宮崎江南病院	院 長	白 尾 一 定	7月号
県立延岡病院	院 長	柳 邊 安 秀	9月号
串間市民病院	事業管理者兼院長	黒 木 和 男	11月号

【宮崎大学医学部だより】

附属図書館医学分館	分 館 長	賀 本 敏 行	3月号
病態解析医学講座 救急・災害医学分野	教 授	落 合 秀 信	4月号
機能制御学講座 薬理学分野	教 授	武 谷 立	5月号
病理学講座 構造機能病態学分野	准 教 授	山 下 篤	6月号

附属病院 医療情報部	教 授	荒 木 賢 二	7月号
感覚運動医学講座 皮膚科学分野	医 局 長	根 本 利恵子	8月号
内科学講座 循環体液制御学分野	医 局 長	鬼 塚 久 充	9月号
内科学講座 消化器血液学分野	医 局 長	岩 切 久 芳	11月号
社会医学講座 生命・医療倫理学分野	教 授	板 井 孝壺郎	12月号

【専門分科医会だより】

放射線科医会	会 長	平 井 俊 範	3月号
内科医会	常任理事	光 川 知 宏	4月号
透析医会	会 長	藤 元 昭 一	5月号
東洋医会	会 長	川 越 宏 文	6月号
皮膚科医会	会 長	成 田 博 実	7月号
外科医会	会 長	白 尾 一 定	9月号
整形外科医会	会 長	松 本 宏 一	12月号

【部会だより】

勤務医部会	部 会 長	菊 池 郁 夫	8月号
学校医部会	理 事	高 村 一 志	10月号
病院部会・医療法人部会	病院部会長	池 井 義 彦	11月号

【報告(宮崎県医師会各種委員会)】

健康教育委員会	1月号
地域医療構想委員会	2月号
医学会編集委員会	4月号
勤務医委員会	7月号
宮崎県医師会医学会役員会	8月号
健康スポーツ医学委員会	11月号
健康教育委員会	12月号

【報告(諸会議)】

平成 29 年度全国医師会勤務医部会連絡協議会	1月号
第 8 回宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員との勉強会)地域医療の危機！医師の偏在、 高齢化、過重労働～これからの宮崎の医療を守るためには～	2月号
医師会立看護学校担当理事連絡協議会	2月号
九州医師会連合会第 114 回臨時委員総会	2月号
九州医師会連合会平成 29 年度第 1 回各種協議会	2月号
第 117 回九州医師会連合会 総会・医学会	2月号

九州各県医師会学校保健担当理事者会	2月号
九州医師会連合会学校医会評議員会	2月号
平成29年度九州学校検診協議会第2回専門委員会	2月号
九州医師会連合会第368回常任委員会	3月号
平成29年度日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議	3月号
宮崎県医師会創立129周年記念医学会・県民健康セミナー	4月号
第2回各郡市医師会長協議会	4月号
九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会第2回九州ブロック災害医療研修会	4月号
九州医師会連合会第369回常任委員会	4月号
第1回 宮崎県病院内メディカルラリー開催	5月号
九州医師会連合会第370回常任委員会	5月号
平成29年度女性医師支援事業連絡協議会	5月号
宮崎県臨床研修医説明会・講演会／新研修医祝賀会 ～ All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー＆ウェルカムパーティ～	6月号
九州医師会連合会平成29年度第2回各種協議会	6月号
都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会	6月号
平成30年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	7月号
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	7月号
九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会	7月号
第167回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	8月号
第168回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	8月号
第169回宮崎県医師会臨時代議員会(概要)	8月号
平成30年度第75回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会第371回常任委員会	8月号
九州医連連絡会第27回常任執行委員会	8月号
第1回外国人医療対策会議(都道府県医師会・外国人医療対策担当理事連絡協議会)	8月号
都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会	8月号
都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会	8月号
平成30年度各専門分科医会長会	9月号
九州医師会連合会第372回常任委員会	10月号
九州医師会連合会第115回定例委員総会	10月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会第68回定例総会・平成30年度第1回運営委員会	11月号
九州医師会連合会第373回常任委員会	11月号

第1回各郡市医師会長協議会	12月号
平成30年度九州医師会連合会学校医会評議員会	
・平成30年度九州医師会連合会学校医会総会	12月号
平成30年度第49回全国学校保健・学校医大会	12月号
平成30年度九州学校検診協議会幹事会	12月号

【報告(その他)】

医師の事務作業を支援する職員の資質向上のために

～宮崎県医師会 医師クラーク育成・スキルアップ研修会報告～

日南市 木佐貫 篤 1月号

宮崎県医師会親善ゴルフ大会 12月号

【宮崎県医師協同組合だより】

宮崎県医師協同組合 第34回通常総代会 理事会	9月号
宮崎県医師協同組合事業について(概要)	11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保険事業のご案内	1～3, 6, 7, 10～12月号
第22回歩こう会について(予告)	2月号
平成30年度の保険料賦課について	4月号
国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い	4月号
第22回歩こう会に参加して	5月号
平成29年度宮崎県医師国民健康保険組合第118回通常組合会	5月号
医師国保からのお知らせ	8月号
平成30年度宮崎県医師国民健康保険組合第119回通常組合会	9月号
宮崎県医師国民健康保険組合の役員について	9月号
被保険者証の一斉更新について	9月号
日曜日の集団検診について	9月号
健康保険適用除外申請の手続きについて	9月号

【追悼のことば】

土屋利紀先生	宮崎市郡医師会	1月号
山中正宣先生	延岡市医師会	1月号
大江幸政先生	宮崎市郡医師会	2月号
白石孝之先生	日向市東臼杵郡医師会	3月号
野村敏彰先生	延岡市医師会	5月号
内村成良先生	西諸医師会	7月号

日 高 隆 徳 先生

延岡市医師会

12月号

【ニューメンバー】(新入会員・新規開業会員)

出 水 誠 二(でみず せいじ)

宮 崎 市

2月号

【診療メモ】

リウマチ治療の最前線

かいクリニック リウマチ科・整形外科

甲 斐 睦 章

1月号

脳死下腎移植～いのちのリレー～

県立宮崎病院

寺 坂 壮 史

2月号

知っておきたい鎮痛薬の使い分け

潤和会記念病院 ペインクリニック科

立 山 真 吾

3月号

「倫理的に考える」ために必要な EBM と NBM

宮崎大学医学部医学科社会医学講座 生命・医療倫理学分野

板 井 孝 壺 郎

4月号

改正道路交通法後の宮崎県の臨時適性検査の実情報告と、自経験報告

野崎病院

宇田川 充 隆

5月号

心房細動症例における抗凝固薬について 宮崎市郡医師会病院

森 久 健 二

6月号

ロボット支援手術(da Vinci サージカルシステム)

宮崎県立宮崎病院

黒 岩 顕 太 郎

7月号

小児在宅医療について

ゆげ小児科・弓削整形外科

弓 削 昭 彦

8月号

ドライアイについて

県立宮崎病院眼科

萩 野 展 永

9月号

ネットワークシステムを通した顔の見える周産期医療-サブスリーを目指して-

宮崎市郡医師会病院 周産期母子医療センター

大 橋 昌 尚

10月号

医療用漢方製剤を処方されている先生方へ そしてまだ処方されていない先生へ

ちぐさ東洋クリニック

川 越 宏 文

11月号

「形成外科」診療について

宮崎江南病院

大 安 剛 裕

12月号

【私の本】

緩和ケア病棟メッセージ集『旅立つ人に寄り添って』

潤和会記念病院緩和ケア病棟メッセージ集編集委員会

5月号

【公示】

宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

6月号

【宮崎グルメ探訪】

菟 泉

綾 町

玉 置 昇

2月号

おがわ作小屋

宮 崎 市

田 中 宏 幸

3月号

サレルーナ

国 富 町

棚 田 敏 文

4月号

そばや 哲心

宮 崎 市 佐 藤 潤一郎

9月号

【宮大医学部学生のページ】

宮崎大学学園祭 第13回清花祭～清花燎原～開催報告

1月号

第8回宮崎の医療を考える会(若手記者と広報委員との勉強会)学生アンケート

～初期臨床研修・新専門医制度～

医学科5年

柴 野 雅 資

2月号

医師国家試験の現状と国試対策委員会の活動

医学科5年

加 藤 直 之

3月号

学生から見た第112回医師国家試験の結果と今後の対策

医学科5年

泉 摩 依

5月号

Prince of Songkla University (PSU)留学記(PSU留学のすゝめ)

医学科6年

坂 口 大 介

6月号

第15回 宮崎大学医学部音楽祭

医学科4年

館 野 友理恵

7月号

第9回日本プライマリ・ケア学会に参加して

医学科3年

佐 藤 愛 結

8月号

小 山 智 美

上海交通大学 留学記

医学科3年

川 端 大 幹

9月号

カリキュラム変更と学生会の役割

医学科5年

山 下 さくら

10月号

宮崎大学学園祭 第14回清花祭～清花絢爛～

医学科4年

阿 部 眞 也

11月号

ひまわりキャンプについて

医学科4年

石 田 貫 大

12月号

【その他】

宮崎県医師会役員等名簿

7月号

各郡市医師会役員名簿

8月号

宮崎県医師会理事業務分担

8月号

平成30年総目次

12月号

【案内】

平成30年度第75回宮崎県医師会総会

5月号

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

8, 9月号

【お知らせ】

宮崎県医師会医療情報コーナー

1月号

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

1, 2月号

平成29年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い

1月号

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

各 号

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

各 号

郡市医師会への送付文書

各 号

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

2月号

勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～(医師会・医師協同組合)	3月号
宮崎県医師会役員等の選挙のご案内	4月号
クールビズについて	5～10月号
諸会費決定について	5月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置	5月号
第19回宮崎県医師会医家芸術展会期について	5月号
「はまゆう随筆」原稿募集	5, 6月号
医療事故調査制度相談窓口	3, 6月号
医師資格証を持ちましょう	4, 6, 7, 9月号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	7, 8月号
第2回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	7～9月号
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	7～9, 12月号
女性医師の皆様へ	6, 8, 9, 12月号
第30回日本医学会総会	10月号
「新春随想」原稿募集	10, 11月号
グループ保険新規加入者募集	11月号
年末・年始の休館について	12月号
第19回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	12月号

訂正

日州医事 第831号(平成30年11月発行)の10ページ目「表彰・祝賀」に誤りがございました。

竹田一雄先生のご紹介文の中で「学校保健功労により厚生労働大臣表彰」と記載しておりましたが、正しくは「学校保健及び学校安全に対する文部科学大臣表彰」でした。

お詫びして訂正させていただきます。

宮大医学部学生のページ



ひまわりキャンプについて

宮崎大学医学部医学科4年 いし だ かん た
石 田 貫 大

『宮崎ひまわりキャンプ』は、小児がん経験者とその家族を支援することを目的とし、2013年に活動を開始した団体です。宮崎大学医学部医学科・看護学科の1年生から6年生までの学生約60名で構成され、宮崎大学医学部附属病院小児科の先生方、がんの子どもを守る会・宮崎支部の皆様をはじめとした多くの方々のご協力のもと運営しております。主な活動の目的は「小児がん経験者同士の交流の場の提供」と「小児がんの啓蒙活動」です。

小児がんの治療は辛く、また長期間に及ぶことが多く、学校に通うことも難しい状況となります。また治療が終了したとしても、晚期合併症の恐れや、復学に関する悩みなど、子ども達は長い間不安や恐怖を抱えながら様々な問題と闘っていかなければなりません。こうした子ども達にとって、同じ経験をした者同士の交流の機会は非常に重要なものになります。しかしながら、小児がんは稀な疾患であるために、小児がん経験者が日常生活の中で同じ経験をした人とつながりを持つことは大変難しいことです。そこで宮崎ひまわりキャンプでは、年に一度10月にデイキャンプ（ひまわりキャンプ）を行い、交流の機会を提供することを目的に活動を始めました。

2018年度のひまわりキャンプは、10月27日、宮崎県青島青少年自然の家体育館で行われました。18名の子ども達、約60名のスタッフが参加し、大きなイベントとなりました。午前中はプラスチックの板に絵を描き、レンジで加熱して作るオリジナルキーホルダーを作り、



十人十色の作品ができあがりました。自由時間では、子ども達はボール投げやフラフープ、フリスビーなどをしながら終始体育館を駆け回っており、子ども達のパワーを感じました。午後のレクリエーションではチーム対抗で、巨大パズルや風船運びゲームなどを行い、白熱した戦いを見せてくれました。このレクリエーションはひまわりキャンプの目玉であり、5歳の子どもから高校生、チームプレイが苦手な子どもまでみんなが楽しめるよう、念入りの準備をしています。たくさん子ども達

の笑顔を見ることができ、特に今年は子ども達同士の交流が見受けられ、キャンプの目的に沿ったものになったのではないかと感じました。

2013年のデイキャンプから始まった宮崎ひまわりキャンプの活動でしたが、現在では他にも様々な活動をしています。毎年11月に行われる宮崎大学の大学祭では、ポスターを用いた活動報告と小児がんへの理解を求める啓蒙活動を、12月には大学構内でものづくりやレクリエーションを行う冬のひまわり会を行っております。また病棟支援活動(ひまわりチャレンジ)も当団体の重要な活動の1つです。

ひまわりチャレンジは「入院中の子ども達は長期にわたる治療により十分な学習時間を確保できず、治療後の学業復帰の際に学力的に大きな壁ができてしまう」という現状を踏まえて、子ども達への定期的な学習指導を行う活動として平成29年7月よりひまわりキャンプ

の中で発足しました。活動場所は宮崎大学医学部附属病院小児科で、毎週月、水、金曜日の週3回小児科病棟に伺い、子ども達への学習支援を行っております。学習支援活動を主としていますが、学習が終わった後、時間がある子ども達とプレイルームで一緒に過ごしたり、夏祭りやハロウィンパーティーなどの小児科病棟で行われるイベントの準備のお手伝いをしたりなど、学習支援以外にも活動の場を広げています。昨年度は大学病院から感謝状をいただき、私たちの活動が病棟の一助になっている実感を持ちました。

宮崎ひまわりキャンプの活動も5年目となり、活動を継続、パワーアップさせていくためにも、たくさんの話し合い、準備、資金が欠かせません。ひまわりキャンプの活動は、活動に理解をして下さる方々のご協力やご寄付で成り立っています。今後も活動を継続し、少しでも多くの子ども達、そしてそのご家族を支えるためにも、皆様のご理解ご協力を賜うことができましたら幸いです。

最後にはなりましたが、発足時から毎年協力してくださっている宮崎大学医学部附属病院小児科の先生方に心より感謝いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。



寄付先：宮崎銀行 清武支店 普通 204222 宮崎ひまわりキャンプ実行委員会代表 石田貫大

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館(医師会, 医師国保, 医師協同組合, 病院厚生年金基金)は
年末・年始休業のため, 下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成30年12月29日(土)～平成31年1月3日(木)

緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385

事務局長 090-1514-3220

お知らせ

平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では, 日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し, 医療事務に必要な知識, 最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに, 医療機関の今日的な使命を自覚し, 誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度, 医療事務職員採用のご予定がございましたら, 何卒, 県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお, 求職に関するお問い合わせ等につきましては, 直接各教育機関の担当者までご連絡ください。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者23名 (女23名)	就職希望者13名 (女13名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先: TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当: 田村 広美	連絡先: TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当: 福元 進	連絡先: TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当: 吉原真由美

お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)にお問い合わせください。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月4日	・平成30年度病床機能報告の実施について ・カブノサイトファーガ感染症に関するQ & Aについて ・各がん検診実施機関等登録(指定)名簿について
10月5日	・風しんの届出数の増加に伴う対策について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・小児慢性特定疾病に係る医療意見書様式の移行について ・風しんの届出数の増加が認められる5都県における産科医療機関と連携した風しん対策について
10月9日	・「要介護認定等の実施について」等の一部改正について ・「介護保険制度下での介護サービスの対価に係る医療費控除の取扱いに係る留意点について」の一部改正について ・保険医療機関と併設する介護医療院における夜勤職員の員数の算定について ・災害拠点病院指定要件の一部改正及び医療機関の平時からの協定締結の必要性について ・ドクターヘリの安全運航のための取組について ・風しん届出数の増加に伴う対策について ・医療勤務環境に関するアンケート調査について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No142」の提供について ・総務省による平成29年度「電波の植込み型医療機器及び在宅医療機器等への影響に関する調査等」報告書について ・医療事故の再発防止に向けた提言第5号及び第6号の公表について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その7)」の問2について
10月10日	・生活保護法の一部改正に伴う後発医薬品の取扱い及び明細書の無償化について ・平成30年北海道胆振東部地震による被災に関する診療報酬等の請求の取扱いについて ・地域医療介護総合確保基金におけるサーバ更新費について
10月12日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その8)」の送付について ・平成30年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・平成31年度国庫補助事業の希望調査について ・健診機関からの推奨依頼について
10月16日	・はり、きゅう及びあん摩・マッサージの施術に係る療養費の取扱いに関する疑義解釈資料及び同意書の取扱い等の周知について
10月17日	・平成30年度第1回代議員会開催結果報告について ・医療事故情報収集等事業第54回報告書の公表等について ・医療事故情報収集等事業平成29年年報の公表について ・移植希望者(レシピエント)選択基準の一部改正について ・日本医師会ORCA管理機構 主催「プログラミング講座」の開講について
10月18日	・平成30年北海道胆振東部地震に対し社会福祉法人が寄付金(義援金)を支出することについての特例について ・「平成29年介護サービス施設・事業所調査の結果」送付について

送付日	文 書 名
10月22日	・医療事故の再発防止に向けた提言第5号・第6号の公表について ・パージェタ点滴静注420mg/14mLの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・感染症施行規則第4条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める五類感染症及び事項の一部を改正する告示の施行に伴う各種改正について ・「介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の一部を改正する省令」の公布等について ・「「多職種による自立に向けたケアプランに係る議論の手引き」について」のご送付について
10月23日	・「給管鳥」「訪看鳥」(オンプレミス版)販売終了のご報告と「給管帳クラウド」への移行について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.143」の提供について ・医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインについて ・第1回日中韓ワンヘルスシンポジウムポスター送付について
10月25日	・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に係る通知の一部改正について ・治療と仕事の両立支援助策の推進について ・介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供する場合の取扱いについて ・働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律による改正後のじん肺法及び労働安全衛生法の施行等について ・バルサルタン製剤における発がん物質の検出に関する平成30年度第8回医薬品等安全対策部会安全対策調査会の審議結果について
10月26日	・学校健康教育各分野の連携について『文部科学省組織令の一部改正に伴う組織体制の変更について』 ・共済組合員被扶養者証の亡失についてのお知らせ ・厚生労働省による医療法人制度改革に関する委託セミナーの開催について(平成29年度税制改正に伴う認定医療法人制度の延長・拡充を中心に解説) ・平成30年7月豪雨による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その22) ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則第4条第6項の規定に基づき厚生労働大臣が定める5類感染症及び事項の一部を改正する件の施行に伴う各種改正について
10月29日	・「医療法及び医師法の一部を改正する法律」の一部の施行に伴う医師法施行規則の一部を改正する省令の施行について(専門研修に関わる通知) ・「医療法及び医師法の一部を改正する法律」の一部の施行に伴う医師法施行規則の一部を改正する省令の施行について ・第8回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「家庭内ワンヘルスの取組み－人と動物における薬剤耐性(AMR)の実態と課題－」の開催について
10月30日	・「医療若しくは歯科医療又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針(医療広告ガイドライン)に関するQ&Aについて」の改訂について ・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に関する質疑応答集(Q&A)について(その2) ・医療機関における電波利活用推進のための取組事例の収集について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・平成30年8月20日から9月5日の間の豪雨及び暴風雨による新潟県岩船郡粟島浦村等の区域に係る災害並びに平成30年北海道胆振東部地震により被害を受けた医療関係施設等に対する災害復旧資金の特例措置について ・平成30年7月豪雨における被災者に係る被保険者証等の提示について(平成31年1月1日以降の取扱い) ・「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第14次報告)」の送付について ・ドブタミン塩酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について

あとかき



今年度より広報委員をさせていただいております、県病院外科の植田です。5年前までは東京人でしたので、広報委員という立場から県の医療情勢を学ぶことができ、前任の中村豪先生にはとても感謝しております。最近は“平成最後の～”というフレーズを耳にします。昭和58年生まれの若輩者ながら、平成という時代を振り返ってみます。

小学2年時にバブル崩壊がおき、雲仙普賢岳の火砕流をみて、なんとなく怖くなる。小学4年時にアナウンサーの逸見さんの記者会見をみて、がんの怖さを知る。小学5年時に阪神・淡路大震災をみて、自然の怖さを痛感する。同年、地下鉄サリン事件を身近に経験し、信仰に対する恐怖感を覚える。中学2年時に山一証券の自主廃業をみて、世の中に“絶対神話”はないことを痛感させられる。高校3年の大学受験勉強中にアメリカの同時多発テロをみて、人生何が起きるか本当にわからないことを実感する。大学2年時にイラク戦争をみて、戦争は無くならないことを実感する。卒後4年時に東日本大震災を経験し、自然災害時の大都市は、全く機能しなくなることを経験し、原発メルトダウンをみて、人間の無力さを再認識する。今思い返すと、悲しいことが多かったでしょうか？皆様はいかがでしょうか？

楽しいニュースといえば、五輪やW杯などのスポーツ系が頭に浮かびます。もうすぐ東京五輪です。娘2人が柔道を習っているのです、チケットが当たったらぜひ見に行かせたい！今からもうワクワクします！元気が出ます！（植田）

* * *

50歳になりました。これまで大きな病気や怪我もなく、健康に産んでくれた両親に感謝です。若い頃は50歳というはずいぶんオジサンというイメージでしたが、実際にその年になってみると食べ物の好みも、物の考え方もさほど変わりないような気がします。今月初めで宮崎県内に100歳以上は911人いるとのことですが、そのうち818人、実に9割が女性とのこと。男はつらいよ、ということかもしれませんが、自分も次の区切り100歳までは健康でボケずにいられるように精進していこうと思います。（稲倉）

* * *

運転免許の更新を忘れていました。偶然、事務長に免許のコピーを渡す機会があり、指摘されて失効していることが発覚しました。しかもあと一週間で免許失効後6ヶ月というぎりぎりのところでした。引越して2年も経つので運転免許の更新案内ハガキが来なかったようです（免許の住所を変更しておけと言われそうですが…）。6ヶ月未満だったので講習だけで済みましたが、もし6ヶ月を過ぎていたら本免許試験から、12ヶ月以上なら仮免許試験からやり直しのところでした。仮免許試験からやり直しもありえたかと思うとぞっとします。皆さんも気をつけてください。（沖田）

* * *

先日、地区の衛生部長の仕事として、分別大使研修会なるものに参加した。分別とはゴミの分別のことである。皆さんの地域のゴミ置き場には収集日の夜に取り残されたゴミはないだろうか？残されたゴミは1週間たっても収集されなかった場合は不法投棄になるらしいが、個人の特定は困難だ。さらに、来年度から分別方法が一部変更になるとのこと。ゴミを出すときには他の誰かに迷惑をかけないためにもきちんと分別して出しましょう。（山崎）

先日、小学校1年生からの友人の結婚披露宴に出席しました。みんなに祝福される中、笑顔がとても嬉しそうでした。そうで幸せそうで、見ていてとてもあたたかい気持ちになりました。また、親しくしている6年生の先輩も11月はじめに婚約されました。こちらとても嬉しい限りです。そんな中自分はというと、結婚願望もなく、まして相手もおらず立っ瀬がありません(笑)、こういった幸せを祝い、その生活を応援できるような人・医療者になりたいと、しみじみ思った11月でした。（泉）

* * *

先日、映画「ファンタスティック・ビースト」のシリーズ第二作を観てきました。本作は、「ハリー・ポッター」シリーズのスピンオフとして世界観を共有しており、新しい作品でありながら、どこか懐かしさを感じられるものとなっています。ふと、あの分厚い原作を夢中になって読んでいた小学生の頃は、臨床実習が始まった今よりも早い時間に起床し、元気に登校していたことを思い出しました。明日からの診療科は朝7時半集合ですが、昔の自分に負けずに頑張って起きようと思います。（伊澤）

* * *

手術材料の高額化に伴い消費税の負担がかさみます。H26年度に消費税率が5%から8%へ引き上げられた際、控除対象外消費税の診療報酬での補てん率は従来102%とされていました。ところが集計ミスがあり実際は91%、特に病院の補てん率は83%であったとの報告が厚労省からありました。これでは医療機関の経営が悪化するのも当然です。厚労省としても消費税問題の解決に向けて全力を尽くすとのことですので期待します。（佐々木）

* * *

今月のトピックス

メディアの目 変わる価値観

自治体等の努力により、本県への移住者が飛躍的に伸びているとのこと。大変喜ばしいことと思います。宮崎は温暖な気候で食べ物も美味しく、老若男女問わず、とても住みやすい土地だと思います。これからも移住者が増えるような取組みを続けて欲しいと思いました。

16ページ

随筆 24HEURES DU MANS 15-16 JUIN 1996

有名なル・マンのチームドクター、素晴らしい青春の思い出ですね。鈴木亜久里やマツチなどなつかしい名前に加え、スープラやNSX、マツダのロータリー車(RX-7?)等、学生時代に憧れた和製スポーツカーの名前が登場し、わくわくしながら読ませていただきました。

6ページ

宮大医学部学生のページ ひまわりキャンプについて

「宮崎ひまわりキャンプ」の存在をはじめて知りました。小児がんの患者と家族に寄り添い、応援する大変すばらしい活動だと思います。賛同される方も多いと思いますので、広報誌やメディア等を活用してより周知されればいいなと思いました。

64ページ

日 州 医 事 第832号(平成30年12月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)